

2 0 2 5 年 度

事 業 報 告 書

(自) 2 0 2 5 年 4 月 1 日

(至) 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 北海道リハビリー

目 次

1	事業概況	1
2	決算概況	2
3	事業実施状況（拠点別）	7
3-1	法人本部	
3-2	クリーニング事業本部	
3-3	リハビリー・クリーナース	
3-4	リハビリー・おおぞら	
3-5	クリーニング事業部	
3-6	リハビリー・エイト	
3-7	美しの森	
3-8	セルプさっぽろ／ウェルプラザやまはな	
3-9	エルフィンホーム／地域福祉推進室	
3-10	ポプルス	
4	地域に向けた社会貢献の取り組み状況	40
4-1	地域における公益的な取り組み	
4-2	その他の地域貢献活動	
5	理事会・評議員会等	43
6	職員研修等	47
7	行事・事業等	51
8	施設見学の受け入れ状況	59
9	職場実習の受け入れ状況	60
10	施設設備整備実施報告	61
11	組織図	64
12	利用者・職員の在籍状況	65

1. 事業概況

2025年度の北海道リハビリーは第6期中期計画の基本方針を踏まえ、「経営基盤の強化と選ばれるHR作り」を目指しました。クリーニング部門では大口顧客との取引が3月末で終了する試練のスタートとなりましたが、収入の減少に対してコストと効率を意識した新たな生産体制を構築し対応しました。また継続した営業努力によりクリーニング部門の売上げは予算比102%、前期比97%を確保することができ、大口取引終了の影響を最小限に抑えることができました。

一方25年度は法人内で設備投資が集中する年となりました。クリーナースとおおぞらの両拠点で連続洗濯機を同時更新し、エイトでは26年度から始まる地域共生事業のために旧印刷工場を全面改修しました。いずれの事業も国庫補助を受けることができ、年度末までにすべての作業を完了しました。

クリーニング事業の燃料である重油の価格は政府の補助金の効果で急上昇することなく推移していましたが、2月のイラン紛争勃発により、それまで1㍲平均82円台だった価格が、3月18日には一気に124.5円に急騰。その後も高値が続いており、重油の入札も業者の参加辞退により機能不全に陥りました。現在、重油の確保も綱渡りの状態で、26年度に向けて最大の懸念材料となっています。それ以外の法人取引においても軒並み値上げ要請が続いており、法人全体がインフレの試練を受けています。一方で政府の経済対策に医療福祉分野の処遇改善や支出増に対する支援策が盛り込まれましたが、本格的な対策とはいえない水準にとどまりました。

このように収入の減少、設備投資、物価高そしてイラン紛争と厳しい経営環境にはありましたが、職員の処遇改善は続けていかなければなりません。25年春もパート職員を含めた全職員に対し手当の上積みを行いました（正職員の昇給率4.48%）。ワークライフバランス向上のために年間休日数も増やしました。深刻な人手不足に対応するため、あらゆるチャンネルを駆使した採用活動も継続し、25年度は新卒2名、中途4名を採用することができました。また近年、異常な猛暑が続いていますが、特にクリーニング工場の作業環境を少しでも改善するための暑さ対策を検討しました。

以上のような流れをふまえ、2025年度の法人経営は事業活動の当期活動増減差額が約5117万円の黒字（前期比43%、予算比292%）、資金面では当期資金収支差額の合計が約8028万円のプラス（前期比161%、予算比712%）という堅調な業績を上げることができました。厳しい状況の中で職員や利用者が頑張った成果だと考えています。イラン情勢は依然として先行き不透明なままですが、北海道リハビリーとしては今後も一步一步着実に事業を進めていきたいと考えています。

決算概況

1. 財務状況

(1) 法人単位の財務状況 (2025年4月1日~2026年3月31日)

貸借対照表	資産合計	負債合計	純資産合計	純資産比率
	千円	千円	千円	
2026年3月末 (前年度末比)	4,765,311 (+93,921)	1,526,182 (△38,005)	3,239,128 (+131,926)	68.0% (+1.5%)
2025年3月末	4,671,390	1,564,188	3,107,202	66.5%

(2) 資産、負債及び純資産に関する説明

① 資産の状況

流動資産は、前年度末比 12,157 千円減(0.8%減)の 1,561,681 千円となりました。主として現金預金が 22,778 千円、事業未収金が 1,064 千円それぞれ増加した一方、原材料が 32,472 千円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前年度末比 106,077 千円増(3.4%増)の 3,203,629 千円となりました。主としてクリーニング機械の更新等による機械及び装置の増加や、地域共生事業に係る改修工事による建物等の増加によるものです。

この結果、総資産は前年度末比 93,921 千円増(2.0%増)の 4,765,311 千円となりました。

② 負債の状況

流動負債は、前年度末比 51,009 千円減(8.0%減)の 583,507 千円となりました。主として事業未払金が 64,138 千円、所内預金が 12,526 千円、賞与引当金が 872 千円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前年度末比 13,004 千円増(1.4%増)の 942,675 千円となりました。役員退職慰労引当金 1,230 千円・退職給付引当金 12,277 千円それぞれ増加したことなどによるものです。

この結果、総負債は、前年度末比 38,005 千円減(2.4%減)の 1,526,182 千円となりました。

③ 純資産の状況

純資産は、前年度末比 131,926 千円増(4.2%増)の 3,239,128 千円となりました。サービス活動が堅調に推移したことにより当期活動増減差額(当期純利益) 51,171 千円を計上したことや国庫補助金等特別積立金が 80,755 千円増加したことなどによるものです。

自己資本比率は 68.0%となり、引き続き高い水準を維持しています。

【経営の安全性等に係る主な指標】			
流動比率	267.6%	固定比率	98.9%
当座比率	149.4%	負債比率	47.1%
手元流動性比率	3.7 ヶ月	自己資本比率(純資産比率)	68.0%

2. 経営成績

(1) 法人単位の事業活動収支 (2025年4月1日~2026年3月31日)

【事業活動収支計算書】					単位：千円
	区分／科目	2025 年度	2024 年度	増減	前期比
サービス活動	サービス活動収益計	2,898,151	2,949,432	△51,281	98.3%
	サービス活動費用計	2,844,683	2,826,613	18,070	100.6%
	【サービス活動増減差額】	53,469	122,819	△69,350	43.5%
サービス活動外	サービス活動外収益	5,548	5,058	490	109.7%
	サービス活動外費用	8,222	8,757	△535	93.9%
	サービス活動外増減差額	△2,674	△3,699	1,025	127.7%
【経常増減差額】		50,795	119,120	△68,325	42.6%
特別増減	特別収益計	128,504	782	127,722	16433.7%
	特別費用計	128,128	610	127,518	21004.5%
	特別増減差額	376	172	204	218.9%
【当期活動増減差額】		51,171	119,292	△68,121	42.9%

(2) 事業活動収支に関する説明

① サービス活動増減の部

サービス活動収益は、前期比 51,281 千円減(1.7%減)の 2,898,151 千円となりました。障害福祉サービス等事業収益が 6,480 千円・0.6%減少、クリーニング事業で病院等数件の取引先が契約終了したことに伴い、就労支援事業収益が 45,174 千円・2.5%減少したことにより減収となりました。

サービス活動費用は、前期比 18,070 千円増(0.6%増)の 2,844,683 千円となりました。主として処遇改善による人件費増や電気料金・資材費等の高騰などによるものです。

この結果、サービス活動増減差額は、前期比 69,350 千円減(56.5%減)の 53,469 千円となりました。

② サービス活動外増減の部

サービス活動外収益は、前期比 490 千円増(9.7%増)の 5,548 千円となりました。主なものとしては、保有する社債等の利息 3,621 千円を受取利息配当金収益に計上しました。

サービス活動外費用は、前期比 535 千円減(6.1%減)の 8,222 千円となりました。主なものとしては、クリーナース・おおぞらの施設整備資金借入金の返済利息等 5,983 千円を支払利息に計上しました。

サービス活動外増減差額は、前期比 1,025 千円増(27.7%増)の△2,674 千円となりました。

この結果、経常増減差額は、前期比 68,325 千円減(57.4%減)の 50,795 千円となりました。

③ 特別増減の部

特別収益は、前期比 127,722 千円増の 128,504 千円となりました。クリーナース・おおぞらの連続洗濯機等やエイトの地域共生事業に伴う改修工事に係る補助金等 127,554 千円を施設整備等補助金収益に計上しました。

特別費用は、前期比 127,518 千円増の 128,128 千円となりました。上記補助金等 127,554 千円を国庫補助金等特別積立金積立額に計上しました。

この結果、特別増減差額は、前期比 204 千円増(118.9%増)の 376 千円となりました。

以上により、当期活動増減差額は前期比 68,121 千円減(57.1%減)の 51,171 千円となりました。

サービス活動収益が前期比で減少したことに加え、人件費増や電気料金・資材費の高騰等によりサービス活動費用が増加したため、減収減益となりました。

(3) 法人単位の資金収支 (2025年4月1日～2026年3月31日)

【資金収支計算書】					単位：千円
	区分/科目	2025 年度	当年度予算	増減	予算比
事業活動	事業活動収入計	2,903,650	2,907,144	△3,494	99.9%
	事業活動支出計	2,608,978	2,672,503	△63,525	97.6%
	【事業活動資金収支差額】	294,673	234,641	60,032	125.6%
施設整備等	施設整備等収入計	228,469	225,425	3,044	101.4%
	施設整備等支出計	441,172	467,651	26,479	94.3%
	【施設整備等資金収支差額】	△212,703	△242,226	29,523	112.2%
その他の活動	その他の活動収入計	92,169	12,000	80,169	768.1%
	その他の活動支出計	93,862	20,091	73,771	467.2%
	【その他の活動資金収支差額】	△1,693	△8,091	6,398	179.1%
【当期資金収支差額】		80,277	△15,676	95,953	712.1%

※資金収支は会計基準に基づき予算との対比で表示しています

(4) 法人単位資金収支に関する説明

① 事業活動による収支

事業活動収入は、予算比 3,494 千円減（0.1%減）の 2,903,650 千円となり、ほぼ予算通りに推移しました。

事業活動支出は、人件費の増加や電気料金・資材費の高騰がありましたが、A 重油単価が予算より低く推移したことや、リネン品や修繕費の抑制により、予算比 63,525 千円減（2.4%減）の 2,608,978 千円となりました。

この結果、事業活動資金収支差額は、予算比 60,032 千円（25.6%増）の 294,673 千円となりました。

② 施設整備等による収支

施設整備等収入は、予算比 3,044 千円増（1.4%増）の 228,469 千円となりました。クリーナース・おおぞらの連続洗濯機等やエイトの地域共生事業に伴う改修工事に係る補助金等 127,554 千円を施設整備等補助金収入に、連続洗濯機等に係る金融機関からの借入金 100,000 千円を設備資金借入金にそれぞれ計上しました。

施設整備等支出は、予算比 26,479 千円減（5.7%減）の 441,172 千円となりました。クリーナース・おおぞらの施設整備資金借入金の元金償還額 89,500 千円のほか、固定資産取得支出 350,127 千円を計上しました。固定資産取得支出の主なものは、クリーナース・おおぞらの連続洗濯機等 206,820 千円、エイトの地域共生事業に伴う改修工事 94,659 千円、エイトの厨房用エアコン一式 8,792 千円、やまはなの店舗改装工事 5,854 千円、やまはな貸し駐車場舗装工事 2,165 千円、各施設の PC 更新 4,656 千円などがあり、支出総額では予算比 28,694 千円減（7.6%減）となりました。

この結果、施設整備等資金収支差額は、予算比 29,523 千円増（12.2%増）の△212,703 千円となりました。

③ その他の活動による収支

その他の活動収入は、(株)ほくほくフィナンシャルグループ優先株式の売却や商船三井社債、日産自動車社債の満期償還により、82,000 千円を投資有価証券売却収入として計上しました。

その他の活動支出は、満期償還を迎えた社債に替わり、みずほフィナンシャルグループ社債、北海道電力社債、関西電力社債を購入したことにより、70,000 千円を投資有価証券取得支出として計上しました。

この結果、その他の活動による資金収支差額は、予算比 6,398 千円増（79.1%増）の△1,693 千円となりました。

以上により、当期資金収支差額は、予算比 95,953 千円増(612.1%増)の 80,277 千円となりました。

事業活動収入が計画どおりに推移し、リネン品や修繕費の費用が抑えられたことなどにより事業活動支出が予算比減で推移したことから、計画を上回る資金を確保することができました。

3. 拠点別の業績

(1) 拠点別の事業活動の状況（2025年4月1日～2026年3月31日）

【事業活動収支 拠点内訳】						単位：千円
区分／科目	クリーナース	前期比	おおぞら	前期比	エイト	前期比
就労支援事業収益	718,804	103.7%	958,156	92.8%	－	－
福祉事業収益	161,079	96.5%	192,291	96.6%	261,853	101.6%
サービス活動収益計	879,883	102.3%	1,150,447	93.4%	261,853	101.6%
サービス活動増減差額	33,232	69.5%	45,121	68.5%	7,049	45.0%
経常増減差額	31,240	68.3%	43,707	68.7%	7,438	46.5%
当期活動増減差額	31,799	69.5%	44,202	69.3%	7,515	46.7%

区分／科目	美しの森	前期比	セルフさっぽろやまはな	前期比	エルフィン	前期比
就労支援事業収益	12,293	107.8%	90,097	104.2%	－	－
福祉事業収益	230,909	102.9%	170,206	96.8%	103,336	101.9%
サービス活動収益計	243,202	103.1%	260,303	99.3%	103,336	101.9%
サービス活動増減差額	20,802	95.6%	23,839	67.0%	△9,775	△3.3%
経常増減差額	20,917	95.4%	24,040	67.3%	△9,775	△3.3%
当期活動増減差額	20,446	92.9%	24,150	67.1%	△9,775	△3.3%

区分／科目	ポプルス	前期比	収益事業	前期比
就労支援事業収益	－	－	－	－
福祉事業収益	11,252	91.7%	4,088	114.0%
サービス活動収益計	11,252	91.7%	4,088	114.0%
サービス活動増減差額	357	355.9%	357	83.0%
経常増減差額	357	355.9%	357	83.0%
当期活動増減差額	321	340.2%	0	－

(2) 拠点の事業活動に関する説明

① リハビリー・クリーナース (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業では、料金改定や新規ホテル6件のリネンサプライを受託し、取扱量が増加したことなどにより、前期比で増収となりました。

福祉事業収益は、加算上位区分の取得により増収効果があった一方で、一部加算が要件変更により取得できなかったため、前期比で減収となりました。

② リハビリー・おおぞら (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業では、料金改定や入院セットのアイテム数の増加により収益の向上を図りましたが、大型病院の契約終了の影響で、前期比で減収となりました。

福祉事業収益は、加算上位区分の取得による増収効果があったものの、利用者の退所や利用率の低下により、前期比で減収となりました。

③ リハビリー・エイト (障害者支援施設)

重度障害者支援加算や職員配置加算の上位区分を取得したことに加え、生活介護事業の開所日数の増加や延べ利用者数の上昇により、前期比で増収となりました。

④ 美しの森 (障害者支援施設)

就労支援事業では、パンの販売価格の値上げやイベント販売の促進活動の継続に加え、清掃の施設外就労を含む事業全体で収益が増加し、前期比で増収となりました。

福祉事業収益では、重度障害者支援加算や職員配置加算の上位区分取得に加え、生活介護事業の開所日数の増加や延べ利用者数の増加により、前期比で増収となりました。

⑤ セルプさっぽろ/ウェルプラザやまはな (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業では、つきさむ事業所において縫製・ウエスの受注増や料金改定により、前期比で微増となりました。

やまはな事業所では、ホテルの被服クリーニングや病院ユニフォームの取り扱い増に加え、直営店舗のスポット受注増により、前期比で増収となりました。

福祉事業収益では、報酬加算の上位区分取得などに取り組みましたが、新規利用者の減少や利用率の低下の影響を受け、両事業所とも前期比で減収となりました。

⑥ エルフィンホーム (共同生活援助事業/グループホーム)

福祉事業収益は、短期入所の延べ利用者数の増加や入居者の障害支援区分の上昇により前期比で増収となりました。一方、世話人等の人員体制強化に伴う人件費の増加が影響し、前期比で減収となりました。

⑦ ポプルス (特定相談支援事業所)

札幌市から北広島市への圏域変更に伴い、北広島市から遠方となる利用者について他事業所へ引き継ぎを行った結果、登録者数が減少し、計画作成件数及びモニタリング件数も減少したことから、前期比で減収となりました。

3. 事業実施状況（拠点別）

3-1 法人本部

2025年度は、社会福祉を取り巻く環境変化や利用者ニーズの多様化を踏まえ、法人としての公共性・公益性を確保しつつ、持続可能な運営体制の構築に努めました。

物価高騰や人材確保の難しさなどの課題が続く中、ガバナンス強化や財務管理の適正化、経営の透明性向上に取り組みました。

処遇改善では、定期昇給に加え、物価高騰対策として臨時特例手当を6,000円増額し、給与水準の引き上げを図りました。あわせて、ワークライフバランスの推進として、年間所定労働時間の短縮や休日数の増加、部門間での休日統一を行い、職員が働きやすい環境づくりを進めました。

また、地域共生社会の実現を目指し、地域住民及び関係機関との連携を強化しました。

なお、人材の安定確保や経費増への対応などの課題は残されており、引き続き組織運営の強化に努めます。

① 経営組織のガバナンスの維持と事業運営の透明性の確保に努めました。

- (ア) 評議員会、理事会、監事の役割・権限・責任に基づき、法人運営に関する基本方針や重要事項を決定するとともに、理事の職務執行状況を監督し、経営組織のガバナンスの維持に努めました。
- (イ) 内部統制の実効性及び財務規律の保持を目的に、監査法人を会計監査人として再任し、会計監査を継続しました。
- (ウ) 監事監査、会計監査人監査、税理士による税務確認を適時に実施し、事業報告・財務報告の信頼性確保と経営の透明性向上に努めました。監査等での指摘・助言事項については、改善策・対応策を報告のうえ、速やかに是正に取り組みました。なお、会計監査人監査においては、2024年度計算書類に対し「無限定適正意見」の表明を受けました。
- (エ) 業務の適正性及び効率性を確保するため、内部監査人を設置し、各事業所の職務執行状況について計画的に内部監査を実施しました。2025年度は、「おおぞら」を上半期、「クリーニング事業部」を下半期に監査しました。
- (オ) 法人経営に重大な影響を及ぼすおそれのあるコンプライアンス違反や、通報窓口への申出事案は発生しませんでした。

監査等の実施状況（2025年4月1日～2026年3月31日）		
監事監査	5月16日	業務及び会計監査
	5月21日	監事協議会
	9月19日	業務監査(エイト・エルフィン)
	11月25日	業務監査及び会計監査(2025年度上半期事業状況・決算概況) 業務監査（クリーナース・おおぞら）
	3月24日	業務監査(セルプさっぽろ・美しの森・ポプルス)
会計監査人監査	4月7日	期末実査
	5月19日～21日	期末監査・理事長・監事コミュニケーション
	11月17日～19日	期中監査・理事者・監事・内部監査人コミュニケーション
	2月2日～4日	期中監査
税理士税務確認	5月8日	消費税等の税務確認他
	11月10日	消費税等の税務確認他

② 地域共生の拠点となる地域共生事業の開設に向け、準備・体制整備を進めました。

(ア) 地域共生社会の実現を目指し、行政及び地域関係団体との連携強化に向けた準備を進めました。

具体的には、北広島市児童活動センターとの連携協議、市民参加フォーラムへの参加による地域住民ニーズの把握、障害者スポーツ団体との情報交換などを行いました。今後も、地域住民との交流機会の拡大に向けた体制整備に努めます。

(イ) 整備工事は7月に入札を完了し、9月に着工、2026年3月に完成しました。

本事業は、令和6年度社会福祉施設等整備補助金(国補正分)72,600千円の交付を受けて実施しています。

(ウ) 地域共生の推進を目的に、相談支援事業所「ポプルス」に施設利用支援コーディネーターを配置し、新規利用者相談や地域移行支援などの窓口を一元化しました。

この相談機能を通じて、地域の相談事業所や支援学校との連携を強化し、利用者のニーズに即したサービス提供や地域移行支援につなげています。



＜交流スペース・機能訓練スペース＞

売店及び交流スペースを併設します。



＜多目的ホール＞

障がい者スポーツほか、各種イベントで活用

③ 福祉事業・就労支援事業の両サービス活動において計画利益を確保するとともに、適正な予算執行により財務の健全性を保持しました。

(ア) 福祉事業及び就労支援事業の両サービス活動においては、計画利益の確保に努めるとともに、適正な予算執行を行い、財務の健全性の維持に努めました。

(イ) 物価上昇やエネルギー価格の高騰により事業費及び製造原価が増加し経営に影響を及ぼす中、福祉事業では利用者数及び利用率の向上による増収の確保に努めるとともに、就労支援事業ではクリーニング事業を中心に生産性の向上や採算性の低い取引の見直し、価格交渉及び新規顧客の開拓により収支改善に取り組みました。

(ウ) 設備整備及び修繕については、事業計画に基づき計画的に実施しました。入札及び契約にあたっては、競争の機会均等の原則に則り、公平性・透明性・経済性を確保した調達を行い、コスト削減に努めました。また、少額の設備整備についても民間助成金を活用しました。

(税込)

入札の執行状況①		
実施部門	(1) クリーナース・おおぞら	(2) クリーナース・おおぞら
事業名	連続洗濯機・油圧脱水機の更新 (省エネ設備等導入促進事業)	コンサルタント業務契約 (補助金申請代行、事業完了までのサポート)
入札執行日	2025年6月6日	2025年6月6日
契約方法	総合評価落札方式による一般競争入札	総合評価落札方式による一般競争入札
参加業者	3者	1者
事業予算額	229,361,000円	11,880,000円
落札金額(得点)	227,502,000円(146点/150点)	11,286,000円(87.2点/100点)
落札率	99.1%	95%
契約業者	アイナックス稲本 株式会社	株式会社 豊国エコソリューションズ
契約締結日	2025年9月16日(補助金決定後)	2025年9月17日
事業完了日	2026年1月31日	2026年1月31日
備考	自己資金：173,502,000円 省エネルギー投資促進支援事業補助金 (設備単位型)：54,000,000円	自己資金

(税込)

入札の執行状況②		
実施部門	(3) 法人本部	(4) リハビリリー・エイト (たいし)
事業名	法人PC(40台)の更新	工場棟改修工事
入札執行日	2025年7月23日	2025年7月25日
契約方法	一般競争入札	一般競争入札
参加業者	5者	1者
事業予算額	9,350,000円	97,900,000円
落札金額	4,666,860円	96,800,000円
落札率	50.0%	98.8%
契約業者	富士フイルム・ビジネスイノベーション・ジャパン 株式会社	山崎建設工業 株式会社
契約締結日	2025年7月30日	2025年8月19日
事業完了日	2025年11月13日	2026年3月31日
備考	自己資金	自己資金：24,200,000円 令和6年度社会福祉施設等整備補助金 (国補正分)72,600,000円

補助金・助成金の申請状況 (2025年4月1日～2026年3月31日)				
申請施設 申請日	申請先及び助成事業名	事業内容	事業費 助成金額	申請・採択状況
美しい森 2025.4.22	公益財団法人萬田記念財団 社会福祉法人の身体障害者 施設への助成金	ウインドエアコン 30台	2,948,000円	不採択
			1,000,000円	
セルプさっぽろ 2025.6.30	社会福祉法人丸紅基金 2025年度丸紅基金 福祉助成金	工業用マシン 7台	2,833,600円	不採択
			2,830,000円	
おおぞら クリーナース 2025.7.10	環境共生イニシアチブ 令和6年度省エネルギー 投資促進事業補助金 (設備単位型)	連続洗濯機・油圧脱水機の更新 (省エネ設備導入促進事業)	227,502,000円	採択 (9月10日)
			54,000,000円	
リハビリー・エイト 2025.7.28	公益財団法人 大友福祉振興財団 2025年度障がい者助成	コグニバイク CB03	1,199,000円	採択 (9月19日)
			953,920円	
美しい森 2025.11.13	公益財団法人 JKA 2026年度公益事業 事業振興補助事業	送迎車両 1台	2,800,000円	採択 (2026年4月1日)
			1,350,000円	

- (I) 燃料用 A 重油の調達には、指名業者 8 社による入札を実施し価格抑制に努めました。しかし、年度末の 2 月に発生したイラン紛争等の影響により、価格は一時 124.50 円/ℓ まで急騰。応札業者の不在や不調が相次ぎ、一時的に個別調達を余儀なくされるなど、極めて不安定な市場環境となりました。

この高騰が年度末であったものの、2025 年度の平均単価は 83.90 円/ℓ に留まり、予算 (100 円/ℓ) の範囲内で推移しました。しかし、足元の市場価格は依然として高値圏で推移しており、次年度の収支を圧迫する懸念材料となっています。今後も情勢を注視し、支出のさらなる精査と効率的な予算運用に努めます。

A 重油使用量と金額						
年度	使用量	前期比	平均単価 1 ℓ	前期比	金額	前期比
2025 年度	1,913.5 kℓ	88.5%	83.90 円	102.0%	160,543 千円	90.3%
2024 年度	2,161.2 kℓ	103.2%	82.22 円	103.0%	177,694 千円	106.2%
2023 年度	2,094.5 kℓ	105.7%	79.84 円	105.3%	166,637 千円	111.0%
2022 年度	1,981.3 kℓ	106.9%	75.83 円	108.1%	150,070 千円	115.5%
2021 年度	1,852.7 kℓ	99.9%	70.16 円	157.1%	129,985 千円	157%
2020 年度	1,854.4 kℓ	81.5%	44.65 円	72.1%	82,798 千円	57.3%
2019 年度	2,331.0 kℓ	100.6%	61.90 円	65.8%	144,294 千円	95.7%

- (II) 2025 年度の平均電力単価は 30.83 円/kWh (前期比 95.0%) と、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」による断続的な補助措置もあり、2024 年度平均 (32.45 円/kWh) を下回る水準で推移しました。

単価の下落に加え各施設におけるこまめな消灯や空調設定の見直しといった節電への取り組みにより、年度計において予算内での執行を達成しました。

電気料金								単位：円	
年度	4月～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	前期比
2025 年度	42,230,730	6,597,019	6,172,048	7,097,996	7,062,194	5,854,846	6,080,602	81,095,435	97.5%
2024 年度	40,585,501	6,598,269	6,898,826	7,687,017	7,564,973	6,813,822	6,995,200	83,143,608	106.5%
2023 年度	37,687,880	6,381,455	6,472,909	7,020,675	6,994,257	6,734,988	6,790,188	78,082,352	84.6%
2022 年度	43,180,466	7,850,739	8,060,384	9,199,018	8,680,059	7,598,621	7,700,225	92,269,512	135.1%

④ 職員給与の昇給については、インフレの進行等により実質賃金が減少している状況を踏まえて、定期昇給を実施しました。

(ア) 職員、契約職員及び嘱託職員の給与については、給与昇給制度に基づき、通常の定期昇給を実施しました。

昇給及び給与額の状況 ※臨時特例手当含む		
基本給の平均昇給率	■職員 4.48%	契約・嘱託職員 3.76%
時間外勤務手当を除く 1 カ月の平均給与額	■職員 291,212 円	契約・嘱託職員 240,046 円

⑤ 一本化された「福祉・介護職員等処遇改善加算」を取得し、手当を含めた総体的な処遇改善を福祉・就労の両職員に実施しました。

(ア) 急激な物価上昇への対応として、職員の生活支援を目的に毎月支給している「臨時特例手当」について、2025 年 4 月より基本額に 6,000 円を加算し、合計 14,000 円を支給しました。また、同年 6 月には、経験・技能を有する福祉職員及び就労支援職員の処遇向上と人材の定着を図るため、「特定処遇改善手当」を支給しました。

臨時特例手当の支給状況(3 月現在)		
支給月額(基本額)	対象者数(3 月現在)	支給総額(実支給額)
14,000 円(上乗せ分 6,000 円含む)	268 人	37,905,400 円

特定処遇改善手当の支給状況				
支給区分		手当年額	支給者数	支給総額(実支給額)
A ランク	経験・技能のある福祉職員	240,000 円	15 人	3,600,000 円
B ランク	他の福祉職員	110,000 円	57 人	6,198,672 円
C ランク	その他の職員	50,000 円	81 人	3,900,297 円
支給額計			153 人	13,698,969 円

⑥ 人材確保・育成に向け、新卒・中途採用の強化や高年齢者の雇用に取り組むとともに、外国人労働者や刑務所出所者の雇用についても検討を進めました。

(ア) 社会福祉士などの国家資格取得を目指す学生の実習を受け入れました。

(実習受入実績：社会福祉士 2 名 保育士 9 名 その他 3 名 計 14 名)

(イ) 将来を担う人材を計画的に確保・育成し、組織の成長と活性化を図ることを目的として、新卒採用活動を継続しました。

2025 年の新卒採用では、多様な採用手法を活用した結果、2 名を採用しました。また、中途採用により専門職 4 名を採用しました。

・主な採用活動：インターネット就職ポータルサイト「マイナビ 2025」の活用、法人ホームページへの採用情報掲載(同サイトと連携)、合同企業説明会 等

(ウ) 健康で働く意欲のある方が、いつまでも活躍できる職場づくりを目指し、70 歳以上の方の採用に積極的に取り組みました。(採用実績：エルフィンホーム 4 名)

(I) 外国人労働者(特定技能・介護)の採用に向けて、登録支援機関の選定作業を進めました。今後は、受入実績のある施設の視察等を通じて、運用体制の具体化を図ります。また、2024 年度に登録した「協力雇用主」制度(刑務所出所者の社会復帰支援)については、受入体制を整備したものの、2025 年度の実績はありませんでした。

⑦ 働きやすい職場環境の形成とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを継続しました。

(ア) 年次有給休暇の取得促進を図るため、取得勧奨や計画的付与に向けた希望聴取を実施しました。2025年度の有給休暇取得率は、78.6%(前期比100.9%)となりました。

(イ) 育児休業及び介護休業に関する理解を深めるため、制度説明や広報活動を適時に実施し、制度の活用を呼びかけました。

＜2025年度の取得状況：育児休業5名、産前産後休業3名、産後パパ育休0名、介護休業0名＞

(ウ) 年間所定労働時間を2047.5時間から7.5時間短縮し、2040時間としました。これに伴い、年間休日数を109日から1日増の110日としました。

また、課題であった労働時間制の違いによる部門間の休日数格差については、部門ごとの所定労働時間を調整し、全ての部門の休日数を110日に統一しました。

	クリーナース	おおぞら	ク事業部	エイト	エルフィン
2025年度休日数	110日	110日	110日	110日	110日
前年度からの増数	+7日	+7日	+1日	+1日	+1日
	セルフさっぽろ	やまはな	美しの森	ポプルス	法人本部
2025年度休日数	110日	110日	110日	110日	110日
前年度からの増数	+1日	+1日	+1日	+1日	+1日

(I) 超過勤務については、各部門で削減及び抑制に取り組んだ結果、前期比で1406.5時間の削減(対前期比81.8%)を達成しました。今後も引き続き、長時間労働の抑制に努めていきます。

2025年度超過勤務比較表					
事業所	年度	合計(h)	事業所	年度	合計(h)
クリーナース	2025	1556.0	美しの森	2025	895.7
	2024	2033.0		2024	960.0
	増減	▲477.0		増減	▲64.3
おおぞら	2025	374.5	ポプルス	2025	236.0
	2024	600.8		2024	254.0
	増減	▲226.3		増減	▲18.0
クリーニング事業部	2025	687.0	エルフィンホーム	2025	440.5
	2024	1234.2		2024	676.0
	増減	▲547.2		増減	▲235.5
エイト	2025	1601.5	法人本部	2025	257.8
	2024	1477.5		2024	303.5
	増減	+124.0		増減	▲45.7
セルフさっぽろ やまはな	2025	256.6	事業所合計	2025	6305.5
	2024	173.0		2024	7712.0
	増減	+83.6		増減	▲1406.5

⑧ 法人各施設の主要な業務について、ICT化を進めました。

- (ア) 2023 年度に本格運用を開始した一体管理型クラウドシステム「jinjer(ジンジャー)」については、経理システム及びワークフローの全社での運用を開始しました。一方、勤怠・就業管理システムについては、運用上の不具合や改善課題が見られることから、ベンダーと協議のうえ順次対応を進めています。
- (イ) 給与明細書等の電子交付システム「Edge Tracker(エッジトラッカー)」を全事業所に導入しました。併せて、年末調整手続の電子化も導入し、運用準備を進めています。2025 年度は、法人本部の役職員及び全ての管理職から運用を開始しました。今後、順次全職員への展開を図る予定です。
- (ウ) 介護職員の負担軽減や安全性向上を目的に、見守り支援機器（センサーマット）の導入検討を進めました。下半期に 2 機種の試験運用を実施し、現場職員による検証を行った結果、一定の有益性が認められました。一方で、安定した Wi-Fi 環境の整備に相応の費用を要することが課題として確認されました。今後はこの検証結果を踏まえ、補助金の活用を前提に導入に向けた準備を進めます。

⑨ 多様化・複雑化する福祉・介護ニーズに対応し、将来にわたって質の高い福祉サービスを継続的に提供できる人材を確保・育成するため、福祉・就労の両サービス職員を対象に、スキルアップ・キャリアアップに資する研修を実施しました。

- (ア) 専門性の向上等を目的とし、各分野の外部研修へ職員を派遣しました。福祉事業における障がい特性の理解や介護技術の習得をはじめ、就労支援事業での生産性・営業力の強化、さらに労務・安全衛生分野での災害対策やメンタルヘルス等、多角的な視点から専門知識の習得と技能の研鑽を図りました。
- (イ) 法人主催の内部研修として、コミュニケーション活性化研修（コミュ活）のほか、新任・中堅・管理職を対象とした階層別研修を実施しました。年間を通して延べ 68 名の職員が参加し、各階層に求められるスキルの向上を図りました。

<法人内部研修の実施状況>

研修名	参加者数	テーマ
コミュ活研修(2回実施)	30 人	アサーティブコミュニケーション、人間関係力向上
新任職員研修	8 人	文書作成力向上
中堅職員研修	17 人	組織のタイムマネジメント
管理職研修	13 人	モチベーションマネジメント

- (ウ) 事業継続と施設運営の中核を担う人材育成を目的に、専門資格の取得を支援しました。2025 年度は、サービス管理責任者更新 6 名、社会福祉主事 3 名、強度行動障害支援者 17 名（基礎 14・実践 3）、相談支援 2 名、社会福祉士実習指導者 2 名が修了しました。専門性を高めることで、サービスの質の向上と安定的な事業運営体制の構築を目指します。
- (エ) 障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化に関する法人指針に基づき、全施設職員を対象に虐待防止及び身体拘束防止に関する研修を実施しました。
- (オ) 障がい分野に特化した 400 本以上の豊富なコンテンツを備えた動画研修システム(e ラーニング)を活用し、職員の知識向上と学習機会の拡充を図りました。

⑩ S D G s の「持続可能な社会と地域共生社会の実現」の趣旨を踏まえ、地域住民や関係団体と連携した公益的な活動を実施しました。

- (ア) 施設入所者へのサービスの透明性向上、介護サービスの質向上、利用者や地域との信頼関係構築、事業所の理解促進を目的として、「地域連携推進会議」※1を設置し、「リハビリ・エイト」「エルフィンホーム」「美しの森」の各事業所において同会議を開催しました。

※1 地域連携推進会議とは

事業所と地域との連携による ①利用者や地域との関係づくり、②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護を目的に、事業所が設置する外部の目を入れた会議体のこと。

障害者総合支援法に基づいて新設された制度で、2025 年(令和 7 年)4 月 1 日より、障害者支援施設及びグループホームについて、地域連携推進会議の開催が義務付けられた。

- (イ) 持続可能な共生社会の実現に向け、地域の公益的な取り組みや地域貢献活動を継続しました。これらの取り組み状況については、法人のホームページにて公表するとともに、法人広報誌や SNS を活用して積極的な情報発信を行いました。
- (ウ) 北広島西高校 3 年生を対象に、福祉体験及びボランティア活動の支援を行いました。福祉体験では「リハビリ・エイト」での利用者交流や入浴・食事介助を含む介護体験を実施したほか、ボランティア活動として「北海道リハビリ夏まつり」に 11 名の生徒が参加しました。
- (I) 地域交流行事・施設開放行事である「第 49 回北海道リハビリ夏まつり」を開催しました。当日は多くの利用者、家族、地域住民が来場し、盛大に執り行うことができました。

地域に向けた社会貢献の主な取り組み
① 生活困窮者自立支援法に基づく認定就労訓練事業の実施
② 災害時に福祉避難所を開設(北広島市と福祉避難所の設置等に関する協定を締結)
③ 地域の社会資源等とのネットワークづくり～自立支援協議会、地域たすけあい会議、北広島市認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業、障害支援区分認定審査会(札幌市・北広島市)北広島市保健福祉計画検討委員会等への参加
④ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた取り組み
⑤ 地域の小中高校の総合学習授業への職員派遣
⑥ 施設周辺の環境美化活動の実施、地域清掃活動、交通安全街頭啓発活動への参加
⑦ 地域の学校からのインターンシップや施設見学等の受け入れ
⑧ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催
⑨ 法人全施設に A E D を設置。A E D ステーション等として登録し地域へ提供
⑩ 救急医療用ドクターヘリの離着陸場として施設構内を提供 など

⑪ 互いに尊重し合える風通しの良い職場環境づくりを目指しました。上司と部下・同僚間・部門間のコミュニケーションを活性化し、従業員のモチベーションやエンゲージメントを高めることで、生産性の向上につなげました。

- (ア) 部下との信頼関係構築を目的に、心理的安全性の向上やモチベーションの維持・向上、部下の成長支援を図るため、個人面談シートに基づいた管理者と職員の「1on1 面談」を実施しました。

⑫ 大規模災害の発生に備えて、BCPに基づく教育・訓練を実施しました。

- (ア) 総合防災対策委員会を開催し、防災対策の実施状況や防災計画の確認を行いました。また、各事業所において防災訓練を実施しました。
- (イ) 大規模災害発生時に要配慮者が安心して避難生活を送れるよう、リハビリ・エイトと共同で炊き出し訓練を実施しました。

⑬ 法人の感染症対策指針に基づき、感染対策の継続、感染予防等に対する職員研修などを計画的に実施しました。また、新型コロナウイルス感染症に係る基本的な感染対策を段階的に緩和しました。

- (ア) 感染症に関する特別休暇の弾力的運用や、感染リスクの高い業務に従事した職員への特殊業務手当の支給など、労務上の措置を引き続き講じました。

臨時的な労務措置の適用状況		
措 置 等	適用者数	適用日数
感染者に対する特別休暇の付与	21 人(実数)	77 日
特殊業務手当の支給	57 人(実数)	199 日(597 千円支給)

(イ) 新型コロナウイルス感染者の発生状況

2025 年度は、法人全体で 72 名(職員 23 名・利用者 49 名)が新型コロナウイルスに感染しました。

新型コロナウイルスの発生状況 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)			
施設／部門	職員	利用者	計
リハビリ・クリーナース	3 人	4 人	7 人
リハビリ・おおぞら	3 人	5 人	8 人
たいし	1 人	5 人	6 人
エルフィンホーム	3 人	3 人	6 人
セルプさっぽろ/やまはな	0 人	8 人	8 人
美しの森	7 人	24 人	31 人
クリーニング事業部	3 人	－	3 人
法人本部	3 人	－	3 人
合 計(2025 年度)	23 人	49 人	72 人
累計感染者数 (2020 年 4 月～2026 年 3 月)	266 人	341 人	607 人

- (ウ) 新型コロナウイルス感染症への対応として、接種休暇を廃止し、検温方法の一部を緩和しました。

⑭ 新規利用の促進に向けた取り組みとして、個別送迎を充実させました。

- (ア) 業務の効率化と職員の負担軽減を目的に、送迎専任職員を配置し、これにより送迎サービスの拡充を図りました。
- (イ) 障がいの重度化・高齢化に伴い、施設利用が困難な利用者に対して、安全・安心を確保する観点から送迎体制を強化しました。
- (ウ) 利用者ニーズの把握に努め、すべての送迎について時間やルートなど柔軟な対応を行いました。

⑮ **新規利用者の促進に向けた取り組みとして、法人と施設利用支援コーディネーターが連携して営業活動等を展開しました。**

(ア) 施設利用支援コーディネーターが支援学校や関係機関を訪問し、施設 PR や情報提供、新グループホーム入居者募集、施設見学や体験利用の誘致などの活動を実施しました。

＜学校等訪問数 41 件、施設見学 107 件(見学人数 556 名)・実習 50 件・新規利用 3 名＞

(イ) 利用者の入退所状況では、新たに 24 名が施設利用を開始しました。一方で、障がいの重度化や高齢化による入院・施設替え、また家庭環境の変化などを理由に 19 名が退所しました。

新規利用等の状況 (2025 年 4 月～2026 年 3 月)			
施 設	新規利用	退 所	増 減
リハビリー・クリーナース	5 人	4 人	+ 1 人
リハビリー・おおぞら	6 人	3 人	+ 3 人
リハビリー・エイト	3 人	5 人	△ 2 人
エルフィンホーム	3 人	1 人	+ 2 人
セルフさっぽろ・ウェルプラザやまはな	1 人	2 人	△ 1 人
美しの森	6 人	4 人	+ 2 人
計	24 人	19 人	+ 5 人

⑯ 苦情相談の受付状況（1件）

概 要	
苦情受付日	2025 年 10 月 7 日
苦情申出人	利用者のご家族
苦情受付経路	北海道福祉サービス運営適正化委員会（以下「運営適正化委員会」）への苦情の申し出
苦情内容	2022 年 12 月 8 日に発生した利用者同士の身体接触行為に関し、法人が講じた再発防止策及び調査検証等は十分ではないとして不服を申し立てられ、「運営適正化委員会」へ現地調査を要請したもの。
事案の経緯及び審議の結果等	1. 事案の経緯 2022 年 12 月 8 日、知的障がい利用者間において身体接触行為が発生した。法人は事案認知後、直ちに行政機関へ報告を行うとともに、内部調査を開始した。 法人は再発防止策として、速やかに防犯カメラの増設、職員配置の増強、施設内の見守り強化、職員に対する教育・指導の強化等の措置を講じ、申出人及び代理人弁護士に対しては、現地確認を伴う状況説明と改善策を提示した。 その後、申出人側より本件の原因の検証と再発防止の徹底を求めて「第三者委員会」の設置要望がなされた。 法人は本件が組織的な虐待や不正隠蔽といった設置基準に該当しないこと及び既に行政の指導下で適切な調査と対策を完了していることを根拠に、2024 年 9 月 9 日付で、「第三者委員会」の設置を見送る旨を回答した。 この法人の判断及び対応に不服を持つ申出人により、2025 年 10 月 7 日付で、「運営適正化委員会」に対して苦情の申し立てがなされるに至った。 2. 運営適正化委員会による審議と結果 （1）法人から回答書を提出（2025 年 10 月 27 日付） 事案発生直後から講じてきた多角的な再発防止策に加え、日常的なヒヤリハット分析や専門的研修等の実施状況について回答し、法人の安全管理体制が組織として実効的に機能している事実を提示した。 （2）運営適正化委員会の判断と終結（2025 年 12 月 5 日付通知） 運営適正化委員会の審議の結果、「現地調査により回答書の内容以上の事柄を明らかにすることは難しい。よって回答書を受理し、本件苦情は終結とする」との結論に達した。 これにより、法人が提出した回答書が受理されるとともに、本件苦情は「終結」に至った。 3. 苦情相談委員会の開催 「運営適正化委員会」からの終結通知を受け、2026 年 1 月 30 日に「苦情相談委員会」を開催した。外部委員からは、説明責任を果たすべく真摯に利用者保護者へ向き合った姿勢と、行政等と連携しながら実施した調査検証及び再発防止策等については適正性・誠実性を欠いているとは言い難く、「法人の対応は適切かつ妥当であった」との見解を受けた。 4. 今後の姿勢 本件苦情は、「運営適正化委員会」の判断と法人の「苦情相談委員会」の審議結果をもって解決としたが、引き続き利用者の尊厳を守りながら、支援の質の向上と再発防止に取り組むこととしている。

3-2 クリーニング事業本部

クリーニング事業を行う拠点の管理職で構成する「クリーニング事業本部会議」を定期開催し、製販一体となって事業を進展させるための方策を講じました。

営業戦略・生産戦略を共有するとともに、市場の動向や顧客ニーズ、生産状況等を相互にフィードバックすることにより、受注機会の拡大に努めました。

ホテルリネンサプライ関連事業は、取引先ホテルの稼働率が概ね堅調に推移したことや新規物件を受託したことなどにより増収となりました。

病院寝具リネンサプライ事業は、値上げ等による売上げがあった一方で、総合病院2件との取引が終了したことや、取引先病院の病床稼働率が低下傾向にあったことなどから減収となりました。

ホームクリーニング事業は、家庭用クリーニング需要の減退に加えて、人件費の上昇や資材高騰等により運営コストが増加していることから、不採算店舗の閉鎖を含む事業の合理化を進めました。

- ① 燃料費・原材料費・物流費・人件費等の上昇が利益を圧迫していることから、製販両部門において業務の効率化やさらなるコスト削減に努めるとともに、受注価格への転嫁交渉を続けながら利益確保を目指しました。

クリーニング事業全体の就労支援事業収益(やまはな及び印刷販売を含む)は、1,729,586千円(予算比 102.2%・前期比 97.5%)、同営業利益は 71,069 千円(予算比 404.0%・前期比 85.0%) を計上しました。

- ② 取引の終了・縮小等による物量変動に臨機に対応するため、新規物件の受注や商品販売等の営業活動を継続しました。また、収益性が低い取引物件を整理して高収益物件に入れ替えるなど、取引先の新陳代謝を図りました。工場においては品質管理を強化して、顧客が求める品質水準に応えました。

- ③ 経営再編協議が難航していた胆振管内の総合病院2件(計870床)との契約が2025年3月で終了したのを機に、おおぞら工場の生産体制の最適化と新たな収益源の確保に取り組みました。入院セットの拡大や値上げ交渉を継続したほか、クリーナーズのタオルクリーニングの一部をおおぞらへ生産移行するなどにより、おおぞら工場の稼働率改善に努めました。

- ④ クリーニング事業関連の設備投資については、中長期的な事業見通しと財務状況を踏まえて、生産能力を維持するための老朽更新と省力化・省エネ・生産性向上等に資する設備の導入を計画に沿って進めました。連続洗濯機及び油圧脱水機の更新については、国の「省エネルギー投資促進支援事業費補助金」を受けて実施しました。

- ⑤ ホームクリーニング事業の合理化の一環として、不採算運営が続いていたテナント取次店1店舗について、2025年10月をもって閉鎖撤退しました。<年間売上高:6,700千円>

3-3 リハビリ・クリーナース

利用者一人ひとりが、社会参加と社会的自立ができるよう、地域における社会資源の情報を継続的に提供し、グループホームなどの説明・紹介を行い、希望する利用者には、体験入所が行えるよう関係各所と連携し対応しました。

事業活動を安定かつ継続的に運営するため、若手・中途人材の確保に努め、職員2名を採用しました。

働き甲斐が持てるよう職員個々の能力と適材適所を見極め、適時職場配置の見直しを行い、人材育成に努めました。様々な職場を経験することでコミュニケーションの重要性への理解が深まり、意見交換が行える風通しの良い職場環境の形成につなげました。

就労支援事業では、事業の継続性・安定性を維持するため、各生産ライン別に仕上げ工程を適時検討し、職員・利用者の能力を最大限発揮できるよう人員配置を見直すとともに、省人化設備を導入し、生産効率を向上させました。また、新規ホテル6件の契約獲得に当たっては、工場内の生産工程を再編成し、さらにおおぞら施設へ一部の生産ラインを移設することで受入体制を整備し、黒字経営の定着を図ることができました。

(1) 施設運営

① 福祉事業及び就労支援事業の将来を担う人材を継続的・計画的に育成するため、各種専門分野別の研修会への積極的な参加を促進しました。257名(外部研修13名、法人内部研修244名)が参加し、職員個々のスキルアップに取り組みました。また、4月に職員に昇格した1名を対象に、エルダー・メンター制度を活用したサポートを実施し、人材育成、キャリア形成、モチベーションの維持・向上につなげました。

資格取得の奨励、継続的な自己啓発の促進に取り組み、職員6名が社会福祉主事・第一種衛生管理者・ボイラー技士2級・クリーニング師を取得したほか、手話検定2級にも職員1名が合格しました。

② 利用者を楽しんでもらえる施設行事として、お花見会をはじめ、合同打上げ会(焼き肉会)・かき氷納涼会・ボッチャ大会・新年会を開催しました。行事には多くの利用者・職員が参加し、交流を深めることができました。

③ 基本的な感染対策として、通所時の体温・体調確認などを継続し、感染症対策指針に基づき感染症マニュアルに沿った対応を行いました。また、感染発生時には、対応フローチャートに基づき適切に対応した結果、施設内感染が拡大することはありませんでした。

④ 災害発生時の連絡方法や帰宅困難時の対応として、利用者及び家族、グループホームなどへ生活状況、緊急時連絡先、通所・通勤経路情報を適時更新し、災害備蓄品の点検及び保管場所などを含め、BCPに基づく教育・訓練を実施しました。

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利 用 率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
就労継続A型	15人	16人	104.4%	110.0%	77.6%	87.0%
就労継続B型	45人	62人	135.9%	133.3%	94.9%	93.2%
合 計	60人	78人	128.1%	127.5%	90.6%	91.7%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2025年度平均

- ① 利用者確保に向けて関係機関との連携を強化し、施設見学や現場実習を積極的に受け入れた結果、5名の新規利用につながりました。(施設見学158名、実習希望者32名)一方で、持病の悪化などにより4名が退所となりましたが、定員充足率は目標の100%以上を維持することができました。

利用率については、A型利用者は年間指定休日数の増加や有給休暇の推奨、病気などによる長期療養が大きく影響し、77.6%と低迷しました。B型利用者は他事業所との併用による利用日数の減少や高齢化・障がいの重度化の影響がありましたが、ドアツードア送迎の増便などにより、利用継続を可能とする体制を強化した結果、94.9%と利用率が向上しました。全体として、目標100%に対し利用率は90.6%に止まりました。

- ② 個別支援計画に基づき、利用者が安定・安心した生活を送れるよう、ドアツードア送迎を増便し、5名の利用につながったほか、地域の社会資源として、グループホームや移動支援・家事援助などの情報提供を行いました。

また、自立した社会生活が送れるよう、生産活動の知識・技能の向上を目指す利用者に資格取得を奨励しました。資格取得にかかる費用については「利用者社会参加支援金」を活用し、手話検定3級(A型1名)、クリーニング師(A型2名)の検定試験受験や資格取得に向け取り組み、クリーニング師試験に1名(A型)が合格しました。

- ③ 生活困窮者就労訓練事業については、利用実績がありませんでした。

- ④ 福祉事業収入は、就労継続支援B型事業の重度者支援体制加算の要件変更により、対象区分が「Ⅰ」から「Ⅱ」となったことから、255千円/月の減となりました。

また、目標工賃達成加算の要件を満たさなかったことによる111千円/月の減に加え、他事業所との併用利用や利用者の高齢化・障がいの重度化などに伴う利用日数の減少も影響し、訓練等給付費収入は予算比△12,027千円(92.5%)、前期比△6,417千円(95.9%)となりました。費用面では、人件費の上昇や水道光熱費の高騰などの影響を受け、予算比△1,639千円(99.1%)となった一方、前期比7,625千円(104.6%)と増加しました。

福祉事業のサービス活動増減差額は、△10,603千円(予算比△9384.1%、前期比△388.6%)と大幅に減少しました。

(3) 就労支援事業

- ① ユニフォーム関係の顧客が2025年3月末に解約となり、収益・作業量ともに減少することから、事業の継続性・安定性が維持できるよう、積極的な料金改定を行うとともに、生産量に応じた工程管理・人員体制を適正化し、新規ホテル6件を受託しました。一方でホテルの閉館があったことから、ホテル棟の処理量は約3%増加で推移し、作業収益は予算比・前期比ともに上回りました。

引き続き、生産データを基に各ライン別に工程管理を見直し、新規顧客獲得に向け取り組みます。

- ② エネルギーや原材料価格の高騰を踏まえ、ホテル棟の入荷量の変動に合わせて一斉休日やライン別の縮小稼働を的確に見極め、生産効率化に取り組みました。前期比、生産処理量が約3%増加しましたが、重油使用量は97.8%に留め、コストの削減に取り組みました。

- ③ エネルギーや原材料価格の高騰など様々な経済情勢を踏まえた適正な料金改定を行い、43件、25,573千円の値上げに取り組みました。また、非効率作業を改善するとともに生産性の向上に取り組んだほか、ホームクリーニング取次店の売上低迷が続き、利益確保が難しいことから、10月末でホクレン北49条店を閉店しました。

- ④ 「省エネ設備等導入促進事業(3か年)」の計画に基づき、連続洗濯機及び油圧脱水機の更新について、省エネ補助金(設備単位型)を活用し、省エネ化及び作業効率向上を目的に設備更新を実施しました。これにより、エネルギー使用量の削減と作業効率の改善が図られました。
- ⑤ 就労支援事業の収入については、3月末に解約となった物件の影響はあったものの、積極的な料金改定と新規ホテル6件を受託したことで、作業収益は予算比26,130千円(103.9%)、前期比25,609(103.8%)となりました。
- 費用面では、人件費の上昇分や水道光熱費の高騰、集配料金の値上げなど影響を受け、予算比△11,256千円(98.4%)、前期比27,296千円(104.2%)で推移しました。
- 就労支援事業のサービス活動増減差額は、43,553千円(予算比1709.3%、前期比96.7%)となりました。

3-4 リハビリ・おおぞら

全ての利用者・職員がともに支え合える職場づくりを進めるため、お互いの尊厳を大切にしながら対話ができる環境の整備に取り組みました。

就労支援事業では、大口取引先の契約終了に伴い、物量の変動に対応できる柔軟な生産体制づくりと製造コストの削減に取り組みました。

営業戦略では、入院セットの拡大、付加価値のある製品や追加品目の提案、製造コスト上昇分を踏まえた値上交渉など、収益増につながる取り組みを推進しました。あわせてリネン資材の取り扱いの見直しや集配ルート編成など経費の削減に向けた取り組みを進めました。

(1) 施設運営

- ① 季節ごとに利用者と職員がともに楽しみ、喜びを感じてもらうことを目的としたイベントを開催し、親睦を深めることができました。特に、一年の始まりを皆で祝う新年会は、利用者と職員の連帯感を深め、意欲の維持・向上につながる有意義な催しとなりました。
- ② 互いの立場を理解し、対話を通じて価値観の共有や相手を尊重する関係性を構築するなど、組織における一体感の醸成に努めました。また、新卒・中途採用及び異動による3名に対し、エルダー・メンター制度を活用し、育成・キャリア形成などの業務指導とメンタルケアの両面のサポートを行いながら、職場への適応促進に努めました。
- ③ 職員のスキル向上のため、内外研修会への参加(外部研修 34 名、内部研修 237 名)とともに、検定試験や資格取得を奨励し、自己啓発を促進しました。また、役職別に求められる知識・技術の習得や、組織運営を担うマネジメント能力の強化に取り組み、円滑な事業運営に努めました。
- ④ 感染症及び非常災害など不測の事態に備え、行政通知の内容を適宜反映しながらBCPを更新するとともに、備蓄体制や施設内の役割分担を見直し、迅速に対応可能な体制を整えました。また、災害発生時の被害を最小限に抑えるため、施設建物の管理や一人ひとりの防災意識を高めることなど、利用者及び職員の安全を確保するための取り組みを進めました。
- ⑤ 「就労選択支援事業」※2 の開設に向けて、事業制度の概要説明会やモデル事業の実践報告会、関係機関との意見交換会などに参加し、情報収集を行いました。

しかし北海道が示す同事業の指定要件(過去3年以内に3名以上の利用者を一般企業へ就職させた実績)を満たしていないため、申請を見送りました。今後は、就労移行支援事業など利用者の意向を踏まえた一般就労への支援を継続するとともに、指定要件を満たした際に円滑に対応できる体制の整備に努めます。

※2 就労選択支援とは

障害のある人が、本人の希望や適性・能力に合った就職先や就労支援サービスが選べるようサポートする障害福祉サービスのひとつで、障害者総合支援法に基づいて新設された制度。2025 年(令和 7 年)10 月以降、就労継続支援 B 型の利用申請前に、原則として就労選択支援を利用する必要がある。(2027 年 4 月以降、段階的に就労継続支援 A 型・就労移行支援に対象が拡大される)

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利 用 率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
就労継続A型	34人	29人	85.3%	85.3%	76.5%	76.5%
就労継続B型	60人	61人	101.7%	96.7%	83.2%	83.8%
就労移行	6人	2人	33.3%	33.3%	34.0%	37.6%
合 計	100人	92人	92.0%	89.0%	78.0%	78.6%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2025年度平均

- ① 利用者の定員充足に向け、特別支援学校を中心に延べ237名の見学と利用前提2名を含む22名の実習を受け入れました。見学受入の際には、利用者の意向や障がい特性に応じた作業提供のほか、一般就労に向けた取り組みや就職・定着実績を示すなど、施設の特徴を理解してもらえる対応を行いました。これらの取り組みにより2025年度は、新規利用者として就労移行1名、A型1名、B型4名の計6名を受け入れました。一方で、事業所移行や自己都合により3名が退所となりました。
- ② 利用者の障がいの重度化・高齢化に伴い、個々の意向をもとに作業内容や作業時間について柔軟に対応しながら、未永い施設利用につながる環境づくりを進めました。
- ③ 2025年度は、7月と8月に職員39名、利用者1名、保育実習の学生2名を対象とした手話技術レベルアップ研修会を実施し、聴覚に障がいのある方など多様な障がい特性への対応ができる体制づくりに努めました。
- ④ 軽作業部門は、重い障がいのある方の個性を活かすことができる作業形態を基本としながら、創作品づくりなどの活動を展開しました。手作りの製品は、福祉ショップや各イベントに出品・販売し、地域社会とのつながりや利用者の達成感を高める取り組みを継続しました。
- ⑤ 利用者の短期及び長期目標の達成に向けた支援状況を個別支援計画策定会議等で検証し、個々の課題や意向の変化などにも配慮しながら、技術指導とあわせて必要な生活環境の改善を盛り込んだサポートを行いました。
- ⑥ 福祉事業サービスの収益確保の取り組みとして、欠勤に係る欠席時対応加算など各加算の取得と利用率向上に向けた声掛けなどを進めましたが、A型・B型・就労移行ともに利用者の充足計画が未達であったことや利用者の持病、障がいの重度化などを要因とする利用率の低下により、予算比△9,474千円(95.3%)、前期比△6,805千円(96.6%)となりました。
福祉事業のサービス活動増減差額は、24,291千円(予算比89.5%、前期比76.4%)となりました。

(3) 就労支援事業

- ① 大口取引先の契約終了に伴う新たな生産体制を構築するため、利用者を含む作業従事者の多能工化を進めるとともに、部門ごとの人員配置や作業体制を見直し、組織のスリム化に取り組みました。
また、曜日別に変動する入荷量に応じて作業ライン及び人員体制を集約し、ボイラー稼働時間の短縮などエネルギーコストの削減を図りました。これにより、重油使用量は、前期比で95.8k l(90.0%)、6,499千円(91.8%)の削減となりました。
リネン品の取り扱いに関しては、品質及び多種に及ぶ品目の共通化と在庫品の適正化を進めるため、取引先の入荷量と出荷量の偏りを是正しながらリネン購入費の削減に努めました。

また、集配ルート編成に関し、配送業者より値上げの打診を受けながらも2ルートの解約とともに1ルートの配送業者移行など見直しを行った結果、前期比で年間約3,300千円の配送費減となりました。

- ② 取引先に衛生的で安全な製品を安定的に提供するため、作業マニュアルに基づく工程管理を徹底しました。下半期には作業従事者のスキルアップを目的に洗剤業者及び設備業者の協力を得て各洗剤の成分知識や効果的な処方、機械設備の効率的な運用などの情報を共有しました。
- ③ 「省エネ設備等導入促進事業(3か年)」の計画に基づき、連続洗濯機及び油圧脱水機の更新について、省エネ補助金(設備単位型)を活用し、省エネ化及び作業効率向上を目的に設備更新を実施しました。これにより、エネルギー使用量の削減と作業効率の改善が図られました。
- ④ 夏場の猛暑による生産部門の労働環境改善のため冷風服を導入し、熱中症防止に努めました。また、電気料金などランニングコスト増の抑止と作業場全体の暑熱対策として、高温多湿である空気の排気などの改修工事計画を業者と進めました。
- ⑤ 就労支援事業の収益については、入院セットの拡大や値上交渉などを積極的に展開しましたが、大口取引先の契約終了の影響により、予算比3,977千円(100.4%)、前期比△74,464千円(92.8%)となりました。

費用面では、老朽設備の修繕費が増した一方、作業の集約化や洗浄薬剤の使用量削減などにより、予算比△3,827千円(99.6%)、前期比△60,575千円(93.9%)となりました。

就労支援事業のサービス活動増減差額は、20,221千円(予算比162.9%、前期比59.3%)となりました。

3-5 クリーニング事業部

2025 年度のホテル関連は、稼働率も高く新規受託もあり、売上げは良好に推移しましたが、病院・施設関連は、患者数・利用者数の減に伴い、売上減少となりました。

売上向上に向け、値上交渉や新規物件の獲得等を進めるとともに、高価格帯商品への変更に伴う料金改定を提案するなど、積極的な営業活動を行い、クリーニング事業部全体の売上げでは予算を上回ることができました。また、利益率向上に向け、不採算物件の見直し、経費削減、取引条件の見直し等もあわせて行いました。

- ① リハビリ・クリーナーズの売上実績は、予算比 104.5% 前期比 103.7%となり予算比・前期比ともに上回ることができました。

2025 年度は、ホテル 2 件の解約、スポーツクラブ・飲食店・薬局などの閉店等がありましたが、積極的な料金改定と新規開拓に努め、値上げの獲得と新規ホテル 6 件を受託し、順調に売上げを伸ばすことができました。

また、ホームクリーニング取次店の売上低迷により 10 月末でホクレン北 49 条店を閉店しました。

- ② リハビリ・おおぞらの売上実績は、予算比 99.6% 前期比 92.1%となりました。

病院寝具類では、大型病院 2 件の解約がありましたが、各病院・施設で値上げの交渉を行い、54 件値上げをすることができました。しかし、病棟閉鎖やスタッフ不足による利用受入の制限と物価高騰の影響により経営が思わしくない施設があり、リネン・クリーニングともに売上げを落とす状況となりました。

また、入院セットについては、単価の見直し、高価格帯の病衣への変更や肌着等のリネンアイテムの増を図り、売上げに貢献することができました。

- ③ ウェルプラザやまはなの売上実績(店舗を除く)は、予算比 110.1% 前期比 108.5%となりました。

2024 年度に受託した新規ホテルの被服クリーニングと新規病院のユニフォームクリーニングの売上げが順調に推移し、予算比・前期比ともに上回ることができました。一方、飲食店やスポーツクラブ等の閉店、一般クリーニング品が減少傾向にあることから、値上げや新規受託に向け、積極的な営業活動を行いました。

- ④ 印刷販売の売上実績は、予算比 139.3% 前期比 123.0%となりました。

スポット契約でのカタログや要覧・要項、手提げ袋、クリアファイル等を確実に受注するとともに、大学ホームページの本体サイト、創立 100 周年寄付事業サイト、キャリア支援課サイトの 3 サイトのリニューアルを受注し、売上げを確保することができました。

また値上げ等も適時行い、売上げから外注費を除いた収益については、予算比 174.8%となりました。

⑤ 各事業の売上実績及びクリーニング事業の値上実績(クリーニング事業部の収入状況まとめ)

●クリーニング事業 売上実績

単位：(千円)

	予 算	実 績	予算比	前期比
リハビリ・クリーナース	688,020	718,804	104.5%	103.7%
リハビリ・おおぞら	941,209	937,641	99.6%	92.1%
ウェルプラザやまはな	38,200	42,050	110.1%	108.5%
合 計	1,667,429	1,698,494	101.9%	97.0%

※ウェルプラザやまはなの売上実績は、直営店舗を除く

●クリーニング事業 値上実績

単位：(千円)

	件 数	年間換算値上額
リハビリ・クリーナース	43 件	25,573
リハビリ・おおぞら	54 件	15,621
合 計	97 件	39,160

●印刷販売 売上実績

単位：(千円)

	予 算	実 績	予算比	前期比
合 計	41,000	57,112	139.3%	123.0%

- ⑥ 集配ルートは、ドライバーの働き方改革による時間的制約、各ルートの物量や集配に要する時間、取引先の集配要件等を考慮し、直営ルートも含め、効率的かつ合理的なルート再編成を行いました。

ルートの編成により 1 ルート解約と一部配送業者を見直し、配送費減を図りましたが、各配送業者より値上依頼があり応じたことから、前期比増となりました。

- ⑦ リネン消耗品は、価格高騰や得意先の良質商品への入れ替え要望も踏まえ、価格・品質・生産体制等の多角的視点から調査・検討を行い、順次更新しています。

また、リネン品の品質向上に合わせ、リース料金の見直しも行い、売上増に努めました。

- ⑧ 一般クリーニング品入庫管理システムを本格稼働し、外交員・ウェルプラザやまはなを中心としてハンディターミナルによる集配を順次開始しました。慣れないシステムの運用に戸惑いもありましたが、作業工程の調整・システム設定の変更・カスタマイズ等を適時行い、運用範囲を拡大しています。

- ⑨ 安定的かつ効率的な業務執行体制を図るため、得意先の解約や新規受託による担当件数の増減やシステム導入等による個々人の業務量を考慮し、適正な人員配置を進めるとともに、研修やセミナーへの参加、個別の指導を適時行い人材育成に努めました。

3-6 リハビリ・エイト

利用者主体のサービス提供を心掛け、多様化するニーズに対応するため、職員一人ひとりが多角的な視点で「考動」できる対応力と福祉力の向上に努め、サービスのさらなる充実を図りました。また、著しい行動障害のある利用者とそうでない利用者がともに「望む暮らし」を実現できるよう、個別支援計画やアセスメントに基づく個別支援シート・支援手順書を作成し、すべての利用者が安心・安全に施設を利用できる体制の整備に努めました。

こうした施設内での支援の充実を基盤として、今後は地域における福祉拠点としての役割を改めて確認し、法人の基本理念に沿って地域共生社会の実現を目指していきます。そのため、施設の地域開放や関係機関との連携、住民参加型イベントの実施などを通じ、地域と施設が一体となった共生の場づくりを進めていきます。

(1) 施設運営

- ① 年々多様化する利用者ニーズに対応するため、職員の資質向上に努め、質の高いサービス提供を目指しました。また、利用者一人ひとりの目標や目的に合わせた日中活動(運動、学習、レクリエーション等)の提供に取り組み、利用者満足度の向上を図りました。その結果、生活介護事業の利用率は97.1%となり、目標値の100%には届きませんでした。高水準を維持しました。
- ② 毎日実施しているミーティングにおいて、利用者の状況報告を行い、統一した支援体制の構築に努めました。また、支援会議やチーム会議等で全職員が発言できる機会を設けるなど、意見を出し合い、互いを認め合い尊重し合える環境づくりを進めました。これにより利用者支援に係る「報告・連絡・相談」を適時行えるようになり、職種や経験を問わず自由で活発な意見交換ができる、風通しの良い職場づくりを推進しました。
- ③ 毎日新鮮な気持ちで利用者支援を行うことで「気付き力」を全職員が磨き、利用者の想いや新たな発見を情報共有することで、チーム支援に積極的に活かすなど、支援力向上に努めました。またアセスメントを通して障がい特性や生活歴などの把握に努めるとともに、一人ひとりに適した支援方法の技術習得に努めました。
- ④ 利用者の高齢化や障がいの重度化により、居室・トイレでの転倒等について、関係行政に対し15件の事故報告を行いました。職員会議で事例報告を継続するとともに、必要に応じて支援方法の見直しを行うなど、再発防止策の検討を行いました。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更された後も、日々のバイタルチェック等を実施するなど、基本的な感染対策を継続した結果、罹患者は入所利用者5名に留まりました。また、感染者の発生や自然災害などの緊急事態に備え、必要なサービスを継続するため、BCPの見直しと検証を行いました。

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利 用 率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
生活介護	40人	56人	140.0%	142.5%	97.1%	99.3%
施設入所	40人	39人	97.5%	100.0%	91.8%	92.3%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2025年度平均

- ① 利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の意思決定を尊重した支援に努めました。また、意思決定に困難がある利用者については、好みや判断能力などを把握し、本人の利益につながるよう配慮した支援を行いました。
- ② サービスの透明性や質の向上、利用者と地域との関係づくり、事業所の理解促進などを目的に、施設利用者や地域の関係者などで構成する「地域連携推進会議」を設置し、11月中旬に開催しました。地域関係者を含む外部の視点からの気づき等を得ることで、サービスの質の向上につなげました。
- ③ 強度行動障害のある利用者の増加に対応するため、全生活支援員が強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を受講し、支援技術の向上を図りました。さらに5名の職員については、より専門的な支援方法を学ぶ「実践研修」を修了しました。また、適切な支援を行うため、利用者一人ひとりの障がい特性を踏まえた個別支援シートを作成し、行動障害のある方もない方も安心して過ごせる環境づくりに努めました。
- ④ 職員の資質や介護・支援技術の向上のため、外部・内部研修に延べ29名の職員が参加したほか、施設内自主研修(グループワーク等)を毎月実施するなど支援力向上に努めました。また、職員のキャリアアップに資する資格取得に意欲的に取り組み、3名の職員が国家資格(社会福祉士・介護福祉士)に合格しました。
- ⑤ 福祉サービス活動増減差額は、6,794千円(予算比4959.5%、前期比43.3%)となりました。

(3) 地域共生事業

- ① エイトの空きスペースを活用した新たな事業として、多様な障がいに対応できるリハビリテーション機能と相談機能を併せ持つ多目的空間の2026年度開設に向けて、旧工場棟1階の改修工事を行いました。また、これらの施設機能を地域に開放し、世代や分野を越え、施設と地域がつながる場所を目指しています。
- ② 地域共生事業の柱である「地域開放」では、施設を地域に開かれた交流の場として位置づけ、地域で暮らす方々が生きがいを持ち、孤立することなく、利用者とともに活動できる環境づくりを進めています。その実現に向け、施設の改修工事を行い、地域の方々が気軽に集える多目的ホールを整備しました。また、北広島市や関係団体、地域住民との連携を深め、意見交換を重ねながら、地域の実情やニーズを反映した事業展開を目指します。
- ③ 「相談機能」については、美しの森に併設している「特定相談支援事業所ポプルス」を当施設に移設準備を進めました。あわせて介護保険事業である「居宅介護支援事業所」の開設に向けた諸課題を整理し、今後も検討を進めます。
- ④ 地域共生事業の開設にあわせて、施設名称を変更しました。法人関係者及び地域住民に新たな施設名称を募集した結果、197件の応募があり、施設内に設置した選考委員会による審査を経て、施設名を「障害者支援施設たいし」、地域交流スペースの愛称を「地域交流スペースくるね」に選定しました。なお、「たいし」は北広島市立西の里中学校在校生から、「くるね」は札幌日本大学中学校在校生からの応募でした。また、名称のロゴデザインは星槎道都大学美術学部の学生に依頼し、決定しました。今後は、地域に根ざし、親しまれる施設を目指します。

3-7 美しの森

利用者の高齢化や障がいの重度化・多様化が進む中、職員を対象に発達障がい理解やコミュニケーション、関係機関との連携支援に関する研修を実施し、専門性及び倫理意識の向上に努めました。これらの研修の成果を踏まえ、利用者一人ひとりの状況や希望に沿ったきめ細かな個別支援計画を策定し、地域や施設における自立した生活の実現に向けたサービスの提供に取り組みました。また、日々の観察を通じて、転倒リスクや体調変化等を早期に捉える「予測力」の向上に努め、支援の質の向上を図りました。

(1) 施設運営

① 利用者が日々の活動を通じて喜びや楽しみを感じられるよう、季節行事（お花見、バーベキュー、夏祭り、花火大会、焼き芋、クリスマス会、新年会等）や外出行事（道の駅、きのこ王国等）、及び地域交流（ライブイベント、フラダンス等）を実施しました。これらの取り組みを通じて、利用者の笑顔が多く見られるなど、生活の充実及び幸福度の向上につながりました。

② 感染症対策として、手指衛生の実技研修を再実施するとともに、職員間の情報共有を徹底し、衛生管理の徹底及び衛生意識の向上に取り組みました。こうした取り組みの中、8月には新型コロナウイルス感染症に30名（利用者25名、職員5名）が感染しました。発生後は、感染症BCPに基づき、通所事業の中止や入所支援の一部変更、ゾーニング対応等を実施し、感染拡大の抑制に努めました。その結果、約10日間で収束しました。

なお、2025度の感染状況は、新型コロナウイルス感染症が計32名、インフルエンザが計2名となりました。

③ 利用者の高齢化や障がいの重度化に伴い、転倒事故等のリスクが高まる傾向にあります。ヒヤリ・ハットは22件、事故報告は19件であり、主な要因は居室内での転倒等でした。これらについては障がい特性や居室環境の観点から分析を行い、環境調整や見守り強化等の再発防止策を実施しました。そのうえで、予測力の向上を図り、職員全体でリスクマネジメントの強化に取り組みました。

加えて誤薬事故が3件発生しており、要因として確認体制の不十分さや認識の偏り、業務が重なる中での確認手順の不徹底が挙げられました。内容としては、2件は利用者間での薬剤の取り違えによるもので、類似薬であったことから様子観察とし、体調への影響は認められませんでした。1件は降圧薬と向精神薬の誤服薬であり、血圧低下及び傾眠傾向がみられたため受診・入院対応となりましたが、重篤化には至らず経過観察となりました。

これらを踏まえ、服薬支援における本人確認手順の標準化を行い、再発防止に努めました。今後は個人の注意喚起だけに依存せず、仕組みとして防ぐことを基本とし、手順の遵守状況の確認・見直しを継続することで、再発防止と安全な支援体制の構築に取り組めます。

月・件数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ヒヤリ・ハット	4	2	2	1	-	3	-	2	2	4	0	2	22件
事故報告	1	2	-	3	1	1	2	1	2	1	4	1	19件
合 計	5	4	2	4	1	4	2	3	4	5	4	3	41件

- ④ 職種を超えた報告・連絡・相談の徹底に努めるとともに、看護師、栄養士、支援員等によるチーム会議を定期的に開催し、利用者の健康状態や食事状況、支援内容の共有を図りました。会議においては、共有した情報をもとに支援計画の見直しや課題の早期把握を行い、チーム全体で質の高い支援を提供できる体制の強化を図りました。
- ⑤ 外部研修については、成年後見制度や強度行動障害に関する研修をはじめ、支援員、栄養士、看護師等の専門研修に積極的に参加しました。内部研修については、職員間のコミュニケーションやキャリアビジョン等をテーマとした施設内自主研修を年間 11 回実施し、専門的知識の向上に努めました。また、人材育成の一環として資格取得の奨励・支援を行い、社会福祉主事資格については 1 名が取得、強度行動障害に係る基礎研修については 3 名が受講しました。
- ⑥ サービスの透明性や質の向上、利用者と地域との関係づくり、事業所の理解促進を目的として、施設利用者や地域関係者等で構成する「地域連携推進会議」を 10 月に開催しました。構成員としては、利用者及びその家族に加え、地域の町内会長、小学校長、相談支援事業所の所長等が参加し、施設の取り組みについて理解を深めてもらうとともに、意見交換を行いました。会議では、地域との交流機会の拡充や施設の取り組みに関する情報発信の強化などの意見が出され、今後の運営に活かしていきます。
- ⑦ 近年、北海道において気温の上昇や猛暑日の増加により熱中症リスクが高まっていることから、入所利用者の居室内にウィンドウエアコンを設置しました。また、経年劣化が見られていた施設正面玄関の自動ドアの更新工事を実施しました。これらの取り組みにより、利用者の健康面及び安全面に配慮した快適な生活環境の整備を図りました。

(2) 福祉事業

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利 用 率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
生活介護	40人	68人	170.0%	167.5%	103.9%	103.5%
就労継続B型	20人	15人	75.0%	75.0%	35.3%	42.0%
合 計	60人	83人	138.3%	136.0%	81.2%	83.0%
施設入所	30人	30人	100.0%	96.7%	95.0%	95.3%

※定員・現員・定員充足率は 3 月末現在 利用率は 2025 年度平均

- ① 利用者一人ひとりの意思を尊重し、自立した日常生活と社会参加に向けた個別支援に取り組みました。食事や入浴、排泄等の日常生活支援や余暇活動においては、利用者の意向を確認しながら支援を行い、主体的な活動につながるよう努めました。また、職員間の情報共有及び連携を図ることで、利用者の意思決定を支える支援体制の強化に取り組みました。
- ② 地域貢献及び地域との交流を深めるため、相談支援事業所や支援学校等からの施設見学・施設実習の受け入れを行うとともに、専門学校・大学等からの福祉実習の受け入れや、施設の地域開放行事を実施しました。その結果、新たに入所者 1 名、通所者 4 名の新規サービス利用につながりました。また、専門学校・大学等から福祉実習生 8 名を受け入れるなど、人材育成及び地域貢献に取り組みました。

地域開放行事では、「二人静（夫婦デュオ）」や「フラ・マウリ・リノ（フラダンス）」を招き、ミニライブ等を開催しました。利用者や地域住民が心地よい歌声や楽しいトーク、ダンスを通じて交流する機会となり、地域との関係づくりの推進を図りました。

紹 介 先	見学対応	体験実習	新規利用	備 考
特別支援学校	7 件	2 人	—	
相談支援事業所	3 件	1 人	—	
その他	7件	3 人	5 人	
合 計	17件	6 人	5 人	

- ③ 利用者個々の心身の状況や食事摂取状況に応じた栄養マネジメントに取り組みました。また、利用者を交えた給食会議を開催し、意見や希望をメニューに反映させるなど、嗜好に配慮した食事提供に努めました。さらに、季節感を取り入れた献立の工夫や衛生管理の徹底により、安心・安全な食事提供を行い、利用者の健康増進を図りました。
- ④ 生活介護事業において、身体機能の維持向上や認知面への刺激を目的とした多様なレクリエーションの充実に努めるとともに、四季を感じられる行事（お花見、バーベキュー、夏祭り、花火大会、焼き芋、クリスマス会、新年会等）を実施しました。これらの取り組みが利用者満足度の向上につながり、利用率は 103.9%で目標を達成するとともに、経営基盤の強化に寄与しました。
- ⑤ 強度行動障害をはじめ多様化する利用者への適切な支援を実施するため、職員を積極的に専門研修へ参加させるとともに、会議や内部研修等を通じて、習得した知識・支援技術の共有と定着を図りました。これにより、職員の専門性の向上と支援体制の強化につなげることができました。
- ⑥ 職員の介護負担軽減、業務の効率化及び介護の質の向上を目的として、見守りセンサーや移乗支援機器等の介護ロボットの導入に向けた検討を進めました。販売元より見守りセンサーのデモ機を借用し、実用性の検証を実施しました。
- その結果、対象利用者の生活状況として離床時間が長いケースが多く、センサーの有効活用が限定的となることや、重篤な健康リスクを常時モニタリングする必要性が比較的低いことなど、運用面での課題が確認されました。このため、夜間巡回業務の負担軽減への効果も含め、今後も継続して導入の可否について検討していきます。
- ⑦ 福祉事業のサービス活動増減差額は、19,482 千円(予算比 293.9%、前期比 90.5%)となりました。

(3) 就労支援事業

- ① 法人内の施設利用支援コーディネーターやポプルスと連携し、清掃作業やパン作業の活動を広く周知しました。その結果、B 型事業の見学者が増加しました。今後は、関係機関への継続的な情報提供に加え、利用者ニーズの把握や受入体制の見直しを行い、利用につながる取り組みを強化していきます。
- ② 利用者の障がい特性や作業状況を踏まえ、作業技術の習得・向上を目的として、車両清掃の練習や洗剤の用途に応じた使い分け等を学ぶ実践的な研修を実施しました。あわせて、日常生活に必要な一般常識や生活スキルの向上を目的に、挨拶やマナーを中心としたソーシャルスキルトレーニング（SST）を実施し、社会性や規律意識の向上に努めました。
- ③ パン製造・販売においては、開設当初より 1 個 100 円で販売してきましたが、原材料費の高騰に伴い収益性が低下している状況を踏まえ、2025 年度より販売価格を 1 個 120 円へ改定しました。販売個数は減少したものの、売上額は前年度実績及び今年度予算を上回る結果となりました。また、日々の売れ行きや売れ残りの傾向を分析し、商品構成の見直しを行うことで、売上げの増加及び工賃向上に努めました。

清掃作業においては、利用者一人ひとりの能力に応じて段階的に作業量及び作業難易度の調整を行い、作業技術の向上と作業領域の拡大を図りました。また、効率的かつ効果的に作業を進められるように、職員と連携して作業及び支援体制を整えました。

- ④ 多機能型事業所の強みを活かし、清掃作業を希望する生活介護利用者に対して、本人の体力や集中力等を踏まえ、週2日（計6時間程度）の短時間による作業機会を提供しました。その結果、無理のない範囲で継続的に作業に参加することができ、就労に対する意欲の向上や働く喜びを体感する機会につながりました。また、「お金を貯めて欲しい物を購入したい」という本人の目標に寄り添い、意欲の維持・向上に向けた支援を行いました。
- ⑤ 就労事業のサービス活動増減差額は、1,059 千円(予算比 2118.5%、前期比 458.7%)となりました。

3-8 セルフさっぽろ／ウェルプラザやまはな

2025 年度も支援学校や関係機関との連携を強化し、積極的に見学や実習の受け入れを行うことで、施設の魅力を広く発信することができました。新規利用者の確保には至りませんでした。今後、今後も継続した取り組みにより、利用者確保につなげていきます。

就労支援事業では、つきさむ事業所で取引業者との単価交渉の継続により単価見直しが進み、収益向上につなげることができました。また、やまはな事業所では会社・産業クリーニングの入荷量が増えたことにより、収益を維持することができました。

(1) 施設運営

- ① 4月に構内の桜の開花に合わせて「お花見会」を開催し、団子や飲み物を提供しました。また、土曜日開所として、5月「百合が原公園散策」、6月「焼き肉会(構内)」、7月「羊が丘展望台見学」、9月「サツラクミルクの郷見学」、10月「オリンピックミュージアム見学」、12月「クリスマス会」、1月「餅つき会」など、春から秋は屋外を中心とした行事、冬期間は施設内レクリエーションを中心とした行事を開催し、利用者の満足度向上に努めました。
- ② 支援学校や中学校、相談事業所等と連携して、2025年度は見学25件、実習17件、就労アセスメント1件を受け入れるなど、2026年度以降の新規利用者確保に向けた取り組みを積極的に行いました。
- ③ 質の高いサービス提供を目指すため研修受講を促したことにより、道社協等への研修に計15名の職員が参加し、スキルアップを図りました。
- ④ 8月と3月に全職員を対象とした虐待防止に関する職員研修を実施し、具体的事例の動画視聴により実態の把握と対策について情報共有しました。
- ⑤ 非常災害対策計画を見直し、職員研修で防災対策の確認をするとともに、つきさむ・やまはな両事業所で9月と3月に避難訓練を実施し防災意識の向上に努めました。また、1月の職員研修でBCPの机上訓練を実施し、内容について検証を行いました。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症の対策として基本的な感染予防策を継続するとともに、7月に感染予防についての職員研修を実施し、日々の感染対策について職員の意識向上に努めました。また、8月上旬に利用者6名がコロナ感染症に罹患した時には、全職員へ感染に対する注意と予防策の徹底について再度周知し、感染の拡大防止に努めました。
- ⑦ 「就労選択支援事業」の開設に向けて、事業制度の概要説明会やモデル事業の実践報告会、関係機関との意見交換会などに参加し、情報収集を行いました。しかし、札幌市が示す同事業の指定要件(アセスメント状況等の必須8項目全てを満たし、かつ加点9項目の合計が120点以上)を満たしていないため、2025年度は申請を見送りました。

(2) 福祉事業

○ つきさむ事業所

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利 用 率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
就労継続B型	74人	86人	107.5%	117.6%	96.4%	97.7%
就労移行	6人	0人	0.0%	16.7%	6.5%	25.9%
合 計	80人	86人	107.5%	110.0%	93.9%	92.3%

○ ウェルプラザやまはな

	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利 用 率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
就労継続A型	10人	7人	70.0%	70.0%	73.0%	65.3%
就労継続B型	10人	10人	100.0%	100.0%	68.8%	86.7%
合 計	20人	17人	85.0%	85.0%	57.5%	76.0%

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2025年度平均

- ① 「セルフ菜園」について、今年も草取り、水やり、収穫等の畑作業に利用者が参加し、作物を大切に育て成長していく過程を楽しんでもらうとともに、収穫物を給食で提供することにより、食の大切さと感謝の気持ちを育てる取り組みを進めました。
- ② 利用者や保護者とこまめにコミュニケーションを取り、欠席の減少と利用率向上に取り組みましたが、つきさむ事業所は新規利用者が確保できず、定員充足率 107.5%(目標 115%以上)、利用率は 93.9%(目標 95%以上)、やまはな事業所も新規利用者が確保できなかったことに加え長期欠席者が 1 名いたことにより、定員充足率 85.0%(目標 100%以上)、利用率は 57.5%(目標 95%以上)と、両事業所とも目標には届きませんでした。
- ③ S S Tの実施について、利用者個々の障がい特性等に合わせて内容を見直し、日常生活の充実とコミュニケーション能力を高める初級と、就職を目指す上級の 2 コースに分けて、それぞれの目標に合わせたプログラムを提供しました。
- ④ つきさむ事業所では利用者の縫製作業技術の向上を目指し、ミシンスキルトレーニングを毎月実施しました。また、やまはな事業所ではクリーニングの知識を深めるため 洗剤の更新に合わせて仕入業者による洗剤について知識を深める勉強会を実施しました。
- ⑤ 社会貢献活動の一環として生活困窮者就労訓練事業を継続し、つきさむ事業所で 2 名、やまはな事業所で 2 名を受け入れ作業訓練を実施しました。施設利用にはつながっていませんが、両事業所とも生活支援就労センターと連携して就労訓練を継続しています。
- ⑥ 福祉事業のサービス活動増減差額は、つきさむ事業所が 27,938 千円(予算比 79.8%、前期比 80.0%)、やまはな事業所が△10,209 千円(予算比△195.2%、前期比△8.2%)となりました。

(3) 就労支援事業

○ つきさむ事業所

- ① 5 月よりトートバッグを主軸としたインターネット販売を開始しました。新たな販売機会の創出につながり、僅かながら販売実績を得ることができました。一方で、新商品の製作時間やオンライン掲載の更新体制に課題が見られたため、今後は運営体制を整えながら商品数の拡充と継続的な情報発信を進め、売上向上につなげていきます。
- ② 取引業者の受注見通しや入荷予定等の情報を適宜収集し受注確保に努めるとともに、既存取引においても前年並みの取扱量を維持できるよう継続的に交渉を行い、収益の安定化を図りました。また、受注単価の改定にあたっては、利益率を踏まえ個別に交渉を実施し、おおむね 10%程度の値上げを行うことができました。
- ③ 受注製品の内容や作業状況に合わせて機械や人員の配置を変更する等作業動線も考慮しながら効率化を図りました。また、縫製、軽作業、やまはな、各部門間でタイムリーに作業を分担することで生産性の向上に取り組みしました。

- ④ つきさむ事業所の就労事業のサービス活動増減差額は、△1,361 千円(予算比 94.4%、前期比△127.1%)となりました。

○ ウェルプラザやまはな

- ① クリーニング事業部と情報を共有し作業体制を調整したことにより、新規取引物件 5 件を受注しました。また、既存物件についても、入荷量の変更調整等に適時対応したことにより売上確保につながりました。
- ② 6 月に直営店舗の外壁塗装や内装改修等の工事を実施し、明るく優しい印象になったことで評判も良く、顧客確保にはつながりましたが、売上拡大には至らなかったことから、今後は POS レジを利用した個別セール等効果的な販促活動を進めます。
- ③ 物価高騰により経費負担が増えることを見込んで、仕入業者との価格交渉を継続しました。備品や消耗品等の購入については、既存の取引先から安価なネット販売へ購入先を見直す等、職員のコスト意識を高め無駄の削減に取り組みました。
- ④ やまはな事業所の就労事業のサービス活動増減差額は、7,295 千円(予算比 277.6%、前期比 163.1%)となりました。

3-9 エルフィンホーム／地域福祉推進室

日常生活において利用者の意向を尊重し、思いや希望が反映されるよう、障がいの特性や心身の状態に配慮した支援サービスの提供に努めました。

利用者の状況は、地域でのひとり暮らしにより1名が退所しましたが、見学者への丁寧な説明や、体験利用者への適切な支援を行ったことで定員充足となり、短期入所事業ではリピーターのほか家族の入院などによる緊急的な受け入れを行い、前年度より稼働率が向上しました。また「陽だまり」では生活環境を考慮して4月1日付で定員を5名から4名に変更しました。

利用者を楽しんでもらえるようなイベントを心がけ、自治会懇談会などで意見や要望を聞き取ってイベントを実施するとともに、地域との関係づくりや相互理解を深めるため「地域連携推進会議」を開催しました。

(1) 施設運営

① サービスの透明性や質の向上、地域との関係づくり、事業所の理解促進などを目的に、施設利用者や地域の関係者などで構成する「地域連携推進会議」を11月20日に開催し、ユニット見学や事業状況報告、意見交換などを行って地域との連携を深めました。

② 定員充足に向けて日中活動事業所と連携を図り、支援学校の見学(6件100名)を受け入れてグループホームの丁寧な説明に心がけ、適切な支援を意識して体験入居を受入れた結果、11月と12月にそれぞれ1名、3月に新卒者1名の利用につながりました。また、「陽だまり」は建物が狭小のため4月1日付で定員を5名から4名に変更しました。

③ 世話人の人員不足が続いている中、人員確保のためにハローワークや求人企業の活用、公共施設への求人チラシ掲示など様々な取組を行いましたが、応募に繋がりませんでした。そのため退職した関係者に連絡を取り2名が再雇用となりました。

世話人確保・維持のため、働きやすい職場環境づくりを意識して個別面談を行い勤務日数や勤務時間などの意向を聞き取り、各ユニット状況を踏まえて労働条件の見直しを行いました。

④ 職員の支援スキル向上のため、道社協主催の外部研修に延べ6名が参加、法人主催の内部研修に5名が参加しました。また、6月には全世話人を対象とした「感染対策研修」を実施、12月と3月に「虐待防止研修」を実施しました。

なお、障がい者支援オンライン職員研修ツール「eラーニングシステム(サポーターズカレッジ)」を活用して7研修7名が受講しました。

⑤ 地域との関係づくりと事業所や利用者に対する理解を深めてもらうため、地域行事に積極的に参加して町内の方々との交流を楽しみました。

また、北広島市ボランティアセンター運営委員会や、北広島市きた高齢者支援センター「西の里地域たすけあい会議」に参加し、西の里地区の将来像について意見交換を行いました。

日付	行事内容	参加者
4月7日,15日	西の里地区春の交通安全街頭啓発	職員 4人
5月11日	中央・広栄町内会春の一斉清掃	利用者 14人 職員 4人
7月6日	広栄町内会親睦焼肉バーベキュー会	利用者 18人 職員 4人
8月9日～10日	西の里地区夏祭り	利用者多数 職員 2人
8月31日	中央町内会親睦会	利用者 5人 職員 3人
9月22日,30日	西の里地区秋の交通安全街頭啓発	職員 3人
10月19日,26日	中央・広栄町内会秋の一斉清掃	利用者 13人 職員 4人

- ⑥ 新型コロナウイルス感染者の対応については、2025年度から「リハビリ・エイト」での隔離療養が出来なくなったことから、感染者を居室隔離に変更して、法人の「新型コロナウイルス感染症の対応フロー」に基づき、感染者4名の適切な対応支援と感染拡大防止に努めました。

(2) 福祉事業

ユニット名	定員	現員 (登録者数)	定員充足率		利用率	
			2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
えぞりす	10人	10人	100.0%	93.6%	89.9%	89.0%
かわせみ	10人	10人				
クローバー	7人	7人				
かえで	8人	8人				
陽だまり	4人	4人				
すずらん	7人	7人				
合計	46人	46人				

※定員・現員・定員充足率は3月末現在 利用率は2025年度平均

[短期入所]

ユニット	2025年4月1日～2026年3月31日 実績					
	定員	利用者数	開所日数	延利用日数	平均利用者数	稼働率
すずらん	1人	51人	365日	129日	4.0人	35.3%

- ① 利用者の希望や意向を丁寧に聞き取り、個別支援計画の策定と計画に基づいたサービスの提供に努めました。また、利用者が日中活動を利用している事業所と合同支援会議を開催して、他事業所での作業や生活状況について情報交換を行い支援の参考にしました。
- ② 2024年度に実施した「ひとり暮らしについて」意向調査アンケートの結果に基づき、ひとり暮らし希望者に対して、単身生活に関わる情報提供や生活上の注意点などの説明を行いました。5月から利用者1名が札幌市内でひとり暮らしを始め、家族などのサポートを受けながら自立した生活を送っています。
- ③ 高齢化や障がいの重度化が進み、近い将来グループホームでの生活が難しくなりそうなADLの低下している利用者に対し、本人や家族の意向を聞き取りながら他の福祉サービスへの移行も視野に入れた支援を行いました。

- ④ 利用者の要望を毎月のエルフィン自治会懇談会で取り入れ、5月「自治会旅行(千歳方面)」、8月「自治会花火大会」、9月「ボウリング大会」、2月「新年会」を企画して実施しました。また、利用者が様々なイベントに参加できるよう、6月「施設合同打上会」、8月「北海道リハビリー夏まつり」の参加利用者に対して移動・同行支援を行いました。
- ⑤ 障害者支援区分の見直しによる区分上昇や利用率は向上したものの、当初計画より定員充足の時期が遅れたことで、福祉事業のサービス活動増減差額は、△9,850 千円(予算比 397.3%、前期比 4.9%)となりました。

3-10 ポプルス

障がいのある方が「自分らしく生きる」ことを大切に、地域で安心して生活ができるよう、地域の福祉サービスに関する情報収集や関係機関との連携を強化しました。日中サービスや夜間サービスなど、本人の希望や生活状況を踏まえながら、最善の福祉サービスを組み合わせた支援計画の作成に取り組みました。

また、利用者からの緊急的なサービスの変更依頼に対しても、関係機関等との綿密な連絡調整を行い、迅速かつ丁寧な対応を心がけ、利用者及び関係機関との信頼関係の構築に努めました。

「たいし」への事業所移設については、行政機関（札幌市・北広島市）との協議を行いながら、各種申請手続き等を適切に進め、円滑に完了しました。障がいのある人が、地域で安心して「自分らしく生きる」を念頭に、最善の福祉サービスを組み入れた計画を提案するなど、地域から信頼される相談支援の拠点を目指します。

（１）施設運営

- ① サービス等利用計画の策定においては、利用者の意思を尊重しながら丁寧にニーズの把握を行うとともに、福祉制度や社会資源に関する情報収集を実施しました。そのうえで、利用者が自身の希望を踏まえて適切に判断できるよう、内容を整理し、分かりやすい説明を行い、意思決定の支援に努めました。
- ② 地域の各事業所や関係機関との連携を通じて、居宅介護事業所や短期入所事業所等のサービス内容や特性の把握に努めました。収集した情報を整理し、利用者の生活状況や希望に応じたサービス利用の検討材料として提供することで、適切なサービス調整に取り組みました。
- ③ 相談支援事業所として地域連携を強化するため、基幹相談支援センターが実施する研修へ参加するとともに、自立支援協議会（清田地域部会）に参画し、地域課題や支援ニーズの共有を図りました。あわせて、地域資源や関係機関との関係構築を進め、支援体制の強化に努めました。
- ④ 2026年度に予定している相談支援事業所ポプルの「たいし」への移設を見据え、法人本部で利用者集増活動・地域移行支援を担ってきたコーディネーターをポプルスへ配置しました。併せて、行政機関（札幌市・北広島市）との協議を行いながら、各種申請手続き等を着実に進めました。さらに利用者等への説明及び周知を丁寧に実施し、事業所の移設を円滑に完了しました。
- ⑤ 福祉事業のサービス活動増減差額は、340 千円(予算比 214.5%、前期比 348.3%)となりました。

4. 地域に向けた社会貢献の取り組み状況

4-1 地域における公益的な取り組み

(1) 生活困窮者支援

○ 生活困窮者自立支援法に基づく「認定就労訓練事業」を実施しています

長期離職者、ニートやひきこもり、心身に課題があるなどにより、直ちに一般就労が難しい、または就労に困難を抱える生活困窮者に対し、職場体験実習や就労の機会等の提供を通じて、社会復帰に向けた支援を行っています。

(2) 地域に向けた事業展開

○ A E D（自動体外式除細動器）を設置しています

法人の全施設にA E Dを設置し、緊急時や不測の事態等に迅速に対応できる、安心・安全な環境づくりに努めています。また、職員が適時普通救命講習を受講し、救命効果の向上を図るとともに、地域住民への情報発信として、日本救急医療財団「財団全国マップ」、北広島市「きたひろA E Dステーション」、札幌市「さっぽろ救急サポートセンター」に登録しており、A E Dの設置を広く公表しています。

○ 災害時に福祉避難所を開設します

大規模災害発生時において、一般の避難所で生活することが困難な方々の避難場所として施設内に「福祉避難所」を開設し、地域の障がい者や高齢者等の要配慮者を受け入れます。安心して過ごせるよう、非常食・災害備品の備蓄や訓練を行っています。（北広島市と「災害時における福祉避難所の設置及び運営に関する協定」を締結）

○ 地域と連携した防災協力体制づくりに取り組んでいます

- ・地域の医療機関、高齢者施設との3者による災害時の相互応援体制を定めています。
- ・地域の連合町内会の自主防災計画において、災害時に法人から必要な支援を行うことを定めるなど、地域住民・事業所と連携した相互支援体制を構築しています。

※道央圏の救急医療用ヘリコプター「ドクターヘリ」のランデブーポイント（場外離着陸場）として、施設構内を提供しています。

(3) 地域の社会的ニーズへの支援

○ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた支援を行っています

冬期間に離職を余儀なくされる季節労働者の通年雇用を促進するため、北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会と連携した就業支援を行っています。北広島市内に在住する季節労働者に対して、他業種で働く不安の解消や適性判断等を行うこと目的とした職場見学会や職場体験実習の機会を提供しています。

(4) 地域の社会資源等とのネットワークづくり

○ 「地域たすけあい会議」に参画し、地域の包括的ケア体制の構築に取り組んでいます

西の里地域で働く福祉分野等の専門職による地域住民同士の助け合いの仕組みづくりや地域の包括的ケアなどについて、協議・実践するための地域会議「西の里たすけあい会議」に参画しています。年間を通じて、地域住民に向けた研修会や総合学習（車椅子体験学習等）を開催しているほか、高齢者住宅等の除雪活動、地区夏まつりの準備協力、近隣高校が行うボランティア活動への協力などを実践しています。

(5) 地域とのふれあい交流活動～施設開放行事の開催

○ 地域交流イベント「北海道リハビリー夏まつり」を毎年開催しています

地域の障がい者、高齢者、住民との交流を目的とした施設開放イベントを毎年開催しています。地域の年中行事として定着したこのイベントには、地域の活動団体等の出演・出展・出店のほか、地元中学校の吹奏楽演奏の場の提供や大学生の会場設営ボランティアの参加などを通じて、地域コミュニティの形成と活性化を図っています。毎年、1,000名を超す地域の皆さんの参加・来場を得ています。

4-2 その他の地域貢献活動

(1) 地域福祉の推進に向けたネットワーク活動

○ 地域の自立支援協議会へ参加しています

地域の障がい福祉関係者等による相互連携や支援体制等に関する協議を行う場として設置された「障がい者自立支援協議会」に委員として参加しています。地域の現状や課題等の情報共有や情報発信、支援困難ケースの検討や障がいの理解を促進するための学習会の開催、障がい福祉計画に対する意見提出など、地域福祉の推進と課題の施策化に向けたネットワーク活動を実践しています。

○ 北広島市認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク事業へ参加しています

徘徊または徘徊の恐れのある認知症高齢者や障がい者が行方不明になったときに迅速に対応し、早期発見・保護することを目的とした「北広島市認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク事業」に参加（登録）しています。行政、警察署等の地域の関係機関との連携の下に、情報の相互提供や捜索協力などの支援を行っています。

（２）地域に向けた事業展開

○ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催しています

施設内にコミュニティ・カフェを設置し、地域住民が日常的に集うことができる居場所づくりに取り組んでいます。また、地域住民参加型の施設開放行事の開催や町内会行事への参加などの相互交流を通じて、地域コミュニティを生み出す活動に取り組んでいます。

○ 施設周辺の環境美化活動を実施しています

地域の環境美化に資する取り組みとして、春と秋の年２回、施設構内から周辺国道歩道にかけて、ゴミ拾い清掃活動を行っています。また、グループホームにおいては、町内会の一斉清掃や花壇整備活動へ参加しています。

（３）地域の相談支援ニーズへの対応

○ 特定相談支援事業所における各種相談への対応

特定相談支援事業所では、地域の障がい者が抱える様々な相談に対する窓口として、障がい福祉サービスの利用の有無に関わらず、障がい者やそのご家族からの一般的な相談にも広く応じ、必要な情報の提供や助言等を行っています。事業所が有する機能と専門性を地域に還元すべく、サービス等利用計画に関わる計画相談支援のみならず、地域の障がい者の様々な相談ニーズに対応しています。

（４）地域に向けた福祉教育活動

○ 地域の学校からの職場実習やインターンシップ等を受け入れています

- ・地域の大学や専門学校から、実習生や研修生、インターンシップ等を多数受け入れています。
- ・北海道教育委員会が実施する公立学校教員向けの「初任段階教員研修事業」の受入施設として事業に協力しています。施設内において、障がい者福祉に関わる講義研修や就労支援実習、介護実習等の研修を提供しています。
- ・地域の小中学校の総合学習授業への参加や職業体験・施設見学などを積極的に受け入れるなど、学校との連携による教育支援を行っています。

5. 理事会・評議員会等

開催日	審 議 内 容 等
6月12日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室 （出席理事数 7名） 決議事項 ① 2024年度事業報告(案) ・事業報告書(案)、事業報告書別冊(案)(附属資料)、第6期中期事業計画(案)(2024年度報告) ② 2024年度計算書類及び財産目録 ・決算書説明資料、第61期決算報告書、会計監査報告書、社会福祉充実残額算定 ③ 2024年度監事監査報告 ・監査報告書 ④ 夏期賞与の支給(職員・契約職員) ⑤ 理事及び監事候補者の選定 ⑥ 施設設備整備の実施計画 ・法人PC(40台)の更新(法人本部) ⑦ 2025年度定時評議員会の招集 ① 事業報告書、事業報告書別冊(附属資料)、第6期中期事業計画(2024年度報告) ② 2024年度計算書類及び財産目録 ③ 2024年度監事監査報告 ④ 2025年度事業計画、事業活動予算書及び資金収支予算書 ⑤ 次期評議員の選任報告 ① 理事及び監事の選任 ② 会計監査人の再任及び報酬 ⑧ 苦情相談委員の選考 報告事項 ① 次期評議員の選任報告 ② 理事長からの業務報告(理事長専決事項) ③ 常務理事(業務執行理事)からの業務執行状況報告 ④ 監事監査報告(2024年度第4四半期監事監査報告)(セルプ・美しの森・ポプルス) ⑤ 事業実績(2025年2月～3月・4月) ⑥ 運営状況報告(2025年3月～6月) ⑦ 令和6年度社会福祉法人に係る指導監査の結果(クリーナース・エイト) ⑧ 建設委員会からの報告 ⑨ 施設設備整備の実施報告 ・トンネル式乾燥機及び乾燥機(100kg)の更新(省エネ設備等導入促進事業)(クリーナース・おおぞら) そ の 他 リハビリー・エイトの施設名称変更及び名称募集の実施

開催日	審 議 内 容 等
6月27日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 7名） 決議事項 ①理事長の選定 ②常務理事(業務執行理事)の選定 ③資金運用審査委員の選任 ④会計監査人の報酬 そ の 他
6月27日	【定時評議員会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席評議員数 6名） 報告事項 ①2024年度事業報告 ・事業報告書、事業報告書別冊(附属資料)、第6期中期事業計画(2024年度報告) ②2024年度計算書類及び財産目録 ・決算書説明資料、第61期決算報告書、会計監査報告書、社会福祉充実残額算定 ③2024年度監事監査報告 ・監査報告書 ④2025年度事業計画及び予算 ・事業計画書、事業活動予算書及び資金収支予算書 ⑤次期評議員の選任報告 決議事項 ①理事及び監事の選任 ②会計監査人の再任及び報酬 そ の 他
9月12日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 7名） 報告事項 ①理事長からの業務報告(理事長専決事項) ②事業実績（2025年5月～7月） ③運営状況報告（2025年6月～9月） ④建設委員会からの報告 そ の 他

12月9日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 6名） 決議事項 ①年末賞与の支給について ②2025年度臨時評議員会の招集について ・2025年度上半期事業状況及び決算概況について ・リハビリー・エイトの名称変更について ・定款変更について ・資産の区分の施設名称等の変更 ③設備整備資金に係る借入について 報告事項 ①2025年度上半期事業状況及び決算概況について ②監事監査報告（エイト・エルフィンホーム） 監事監査報告（2025年度上半期事業状況及び決算概況／クリーナース・おおぞら） ③理事長からの業務報告（理事長専決事項） ④常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告 ⑤事業実績（仮計算書類 2025年8月～10月） ⑥運営状況報告（2025年9月～11月） ⑦令和7年度特定給食施設等に係る指導監査の結果について(エイト) ⑧リハビリー・エイトの名称変更について ⑨施設設備整備の実施報告について ・法人PC（40台）の更新 その他 西の里地区排水路（福寿園川流域）に関する現状報告
12月18日	【臨時評議員会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席評議員数 8名） 報告事項 ①2025年度上半期事業状況及び決算概況について ②リハビリー・エイトの名称変更について 決議事項 ①定款変更について ・リハビリー・エイトの名称変更について

3月18日	【定例理事会】 会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 7名） 決議事項 ①2026年度事業計画(案)及び予算(案)について （2025年度決算見込みを含む） ②規程等の改定について ・就業規則等の改定 ・経理規程の改定 ・運営規程の改定（エイト、ポプルス、エルフィン） ③施設長等（1等級職員）の任免について ④役員等賠償責任保険の契約内容の決定について ⑤労働組合からの要求に対する回答について ⑥当座貸越(借越)契約及び所内預金の保全に係る債務保証契約の締結について 報告事項 ①理事長からの業務報告について（理事長専決事項） ②常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告について ③事業実績（仮計算書類 2025年11月～2026年1月） ④運営状況報告（2025年11月～2026年3月） ⑤施設設備整備の実施報告について ・連続洗濯機・連続洗濯機用油圧脱水機の更新(省エネ設備等導入促進事業) （クリーナーズ、おおぞら） ⑥地域共生事業の開始に伴う主な取組について その他
-------	---

6. 職員研修等

※主な研修等を記載

開催日	研修名	主催者等
4月1～2日	新人職員研修	
2日	正職員登用者等研修	
5月12日	接遇・マナー基礎研修	北海道社会福祉協議会
15～23日	北海道サービス管理責任者研修(更新)	特定非営利活動法人きなはれ
6月10日	高齢者・障がい者虐待防止セミナー	北海道社会福祉協議会
〃	熱中症防止研修会	特定非営利活動法人日本セルフセンター
10～12日	強度行動障害支援者養成(基礎)研修	株式会社エンビト
11日	エルダー・メンター制度導入支援研修①	北海道社会福祉協議会
12～14日	社会福祉主事資格認定通信課程(春期コース)	全国社会福祉協議会中央福祉学院
13日	役員研修会	一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会
16日	「就労選択支援」周知研修	札幌市自立支援協議会
16～18日	社会福祉主事資格認定通信課程(春期コース)	全国社会福祉協議会中央福祉学院
19～21日	社会福祉主事資格認定通信課程(春期コース)	全国社会福祉協議会中央福祉学院
7月4日	就労選択支援員養成研修	(株)インソース
8～10日	強度行動障害支援者養成(基礎)研修	株式会社エンビト
10日	介護職員等のための医療の基礎知識講座	北海道社会福祉協議会
〃	経理担当者・管理者のための基礎研修	北海道社会福祉協議会
〃	総務・労務管理者専門研修	北海道社会福祉協議会
7月10日	メンタルヘルスケア研修	北海道社会福祉協議会
11日	エルダー・メンター制度導入支援研修②	北海道社会福祉協議会
15日	カスタマーハラスメント対応術	公益社団法人札幌南法人会
17日	関係者向け研修会	札幌市青年後見推進センター
25日	新任相談援助職員研修	北海道社会福祉協議会
28日	個別支援の実現に向けたケアガイドライン研修会	北海道身体障害者福祉施設協議会
〃	関係者向け研修会	札幌市青年後見推進センター
30～31日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(初任者コース)	北海道社会福祉協議会
31日	第1回社会就労センター施設長・職員研修会	北海道社会就労センター協議会
8月6～7日	北海道強度行動障がい者支援者養成研修(実践)	社会福祉法人はるにれの里
8日	相談援助職員研修	北海道社会福祉協議会
12日	栄養士専門研修	北海道社会福祉協議会
〃	摂食嚥下ケア研修	北海道社会福祉協議会

開催日	研修名	主催者等
8月12日	施設・事業所のためのリスクマネジメント研修	北海道社会福祉協議会
12～14日	相談支援従事者研修(初任者研修)	特定非営利活動法人北海道ケアマネジメントネットワーク
19～21日	強度行動障がい(基礎)研修	株式会社エンビト
21日	コミュニケーション活性化研修1	法人主催/講師:キャリアバンク株式会社
8月22日	コミュニケーション活性化研修2	法人主催/講師:キャリアバンク株式会社
30～31日	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	特定非営利活動法人こころりんく東川
9月2～3日	クリーニング部会研修会	特定非営利活動法人日本セルフセンター
2～4日	強度行動障がい(基礎)研修	株式会社エンビト
3～4日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダーコース)①	北海道社会福祉協議会
4～5日	北海道サービス管理責任者研修(更新)	特定非営利活動法人きなはれ
5日	3圏域(札幌圏域、後志圏域、空知圏域)合同フォローアップ研修	障がい者相談支援センター夢民
6日	炊き出し訓練	社会福祉法人北ひろしま福祉会
10日	苦情・クレーム対応セミナー	北海道社会福祉協議会
"	看護師専門研修	北海道社会福祉協議会
"	社会福祉施設BCP(事業継続計画)運用研修	北海道社会福祉協議会
"	相談援助職員専門研修	北海道社会福祉協議会
12日	エルダー・メンター制度導入支援研修	北海道社会福祉協議会
13～14日	北海道サービス管理責任者研修(更新)	特定非営利活動法人きなはれ
20～21日	強度行動障害支援者養成研修(実践)	特定非営利活動法人こころりんく東川
20、27日	社会福祉士実習指導者講習会	北海道社会福祉士会
24日	中小企業の業務効率化のためのDX活用セミナー	公益社団法人札幌南法人会
9月25～26日	施設長・職員研修会	北海道身体障害者授産施設連絡協議会
9月30～10月1日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(中堅職員コース)	北海道社会福祉協議会
10月6日	効果があがるヒヤリハット活動11のポイントセミナー	有限会社オフィスブレイン
8日	社会福祉法人経営者セミナー	北海道経営者協議会
8～9日	北海道強度行動障がい者支援者養成研修(基礎)	社会福祉法人はるにれの里
10月14～16日	強度行動障がい(基礎)研修	株式会社エンビト
15日	安全運転管理者講習	北海道公安委員会
15～16日	相談支援従事者研修(初任者研修)	特定非営利活動法人北海道ケアマネジメントネットワーク
17日	介護職員専門研修I	北海道社会福祉協議会
19日	社会福祉実習指導者講習会	公益社団法人北海道社会福祉士会
21日	防火管理者再講習	札幌市防災協会
22日	北海道サービス管理責任者研修(更新)	特定非営利活動法人きなはれ

開催日	研修名	主催者等
10月24日	中堅職員研修	法人主催/講師：株式会社アムリプラザ
〃	危険物取扱者保安講習	北海道危険物安全協会連合会
28日	令和7年度身体障害者福祉施設職員研修会	北海道身体障害者福祉施設協議会
29日	相談支援従事者研修（初任者研修）	特定非営利活動法人北海道ケアマネジメントネットワーク
11月4～6日	強度行動障がい（基礎）研修	株式会社エンビト
7日	新任職員研修	法人主催/講師：株式会社アムリプラザ
7～9日	初級パラスポーツ指導員養成講習会	北海道障がい者スポーツ協会
8～9日	サービス管理責任者研修（更新）	株式会社エンビト
11日	指定障害福祉サービス事業者等に対する集団指導	石狩振興局保健環境部社会福祉課
11月11～13日	強度行動障がい（基礎）研修	株式会社エンビト
12日	エルダー・メンター制度導入支援研修	北海道社会福祉協議会
14日	幹部職員研修	法人主催/講師：株式会社アムリプラザ
20日	令和7年度業務説明会	北海道民間社会福祉事業職員共済会
27～28日	令和7年度縫製部会研修会	日本セルフセンター
12月2～4日	強度行動障がい支援者養成(基礎)研修	株式会社エンビト
〃	相談支援従事者(中期)研修(初任者研修)	特定非営利活動法人北海道ケアマネジメントネットワーク
3日	救命講習会	北広島市危険物安全協会
4日	キャリアパス等支援研修	社会福祉法人北ひろしま福祉会
4～5日	福祉職員キャリアパス対応～管理職員～	北海道社会福祉協議会
11日	就労選択支援事業に関する研修会	北海道
12日	清田区災害時助け合い活動研修会	清田区
17日	中小受託取引適正化法講習会	中小企業庁
1月13～15日	強度行動障がい支援者養成(基礎)研修	株式会社エンビト
20～22日	強度行動障がい支援者養成(基礎)研修	株式会社エンビト
24～25日	初級パラスポーツ指導員養成講習会	一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会
1月27～29日	強度行動障がい支援者養成(実践)研修	株式会社エンビト
30日	災害時の要配慮者支援人材育成事業防災・減災オンライン講座	国際障害者交流センタービッグ・アイ
2月2日	社会福祉法人経営実務セミナー	全国社会福祉法人経営者協議会
3～5日	強度行動障がい支援者養成(基礎)研修	株式会社エンビト
4～5日	相談支援従事者(後期)研修(初任者研修)	特定非営利活動法人北海道ケアマネジメントネットワーク
2月11日	エネルギー管理講習資質向上講習	一般財団法人省エネルギーセンター
13日	避難確保計画作成支援会	札幌市
18日	職員研究セミナー	北海道身体障害者福祉施設協議会

開催日	研修名	主催者等
2月24～26日	強度行動障がい支援者養成(実践)研修	株式会社エンビット
26～27日	社会就労センター長研修会	全国社会就労センター協議会
27日	高齢者・障がい者虐待防止研修会	北広島市
3月2日	第2回社会就労センター施設長・職員研修会	北海道社会就労センター協議会
3日	就労選択支援研修	石狩障がい者就業・生活支援センターのいける
"	安全運転管理者講習会	北海道公安委員会
13日	第1回災害支援模擬訓練	北海道身体障害者福祉施設協議会
14日	炊き出し訓練	社会福祉法人北ひろしま福祉会
23～24日	北海道サービス管理責任者研修（更新）	特定非営利活動法人きなはれ

※ その他、各事業所においてBCP(感染症・自然災害)、虐待防止・身体拘束等内部研修を随時実施している。

※ 各事業所において、サポーターズ・カレッジの障がい分野に特化した動画研修システム（eラーニング）を活用している。

拠点別の職員研修参加者数（合計:延べ282人）				
法人本部 64人	クリーナース 20人	おおぞら 33人	クリーニング事業部 17人	エイト 42人
美しい森 43人	セルプさっぽろ 30人	地域福祉推進室 17人	ポプルス 16人	

7. 行事・事業等

※主な行事・事業等を記載

開催日	行事・事業内容	
4月 1日	辞令交付式・新卒入社式	
4日	星槎道都大学 第48回入学式	法人本部
6日	札幌日本大学高等学校 第39回入学式	法人本部
"	札幌日本大学中学校 第23回入学式	法人本部
7日	西の里地区交通安全協議会主催：春の交通安全街頭啓発	北広島施設
"	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
7～8日	省エネ設備等導入促進事業企業説明会 クリーナース、おおぞら、	法人本部
8日	北広島西高等学校 第43回入学式	法人本部
9日	建設委員会 クリーナース、おおぞら、	法人本部
15日	西の里地区交通安全協議会主催：春の交通安全街頭啓発	北広島施設
15、17日	2026新卒採用法人説明・見学会 おおぞら、エイト、	法人本部
17日	春のクリーンデー(施設構内環境整備運動)	セルフ
"	建設委員会 クリーナース、おおぞら、	法人本部
18日	エイト自治会懇談会	エイト
19日	ボッチャ大会(土曜日開所)	エイト
23日	星槎道都大学主催：きやり・プロ社会福祉法人合同説明会	エイト、法人本部
24日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
"	お花見会(施設構内)	セルフ
25日	就労移行支援プログラム(SST)	セルフ
26日	利用者社会見学：滝野すずらん公園	美しの森
30日～5月9日	お花見会(平岡公園)	クリーナース
5月 3日	銭湯イベント(土曜日開所)	エイト
"	美しの湯(土曜日開所)	美しの森
5日	美しの湯	美しの森
8日	澁谷税理士による税務確認	法人本部
11日	広栄・中央町内会主催：春の一斉清掃／花植え	エルフィン
14日	総合防災訓練(日中・火災)	美しの森
15日	春のクリーンデー(施設構内環境整備運動)	エイト、法人本部
16日	第1四半期監事監査(野村監事、佐藤監事)	法人本部
"	エイト自治会懇談会	エイト
17日	百合が原公園(土曜日開所)	セルフ
19～21日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部

開催日	行事・事業内容	
5月 21日	監事協議会	法人本部
22日	2026 新卒採用法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
"	就労移行支援プログラム(S S T)	セルブ
23日	北海道による災害時情報共有システム訓練	北広島施設、やまはな
24日	合同フライングディスク大会(土曜日開所)	エイト、美しの森
25日	エルフィン自治会社会見学：千歳水族館 ほか	エルフィン
29日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
6月 6日	2026 新卒者採用試験	法人本部
"	総合評価落札方式による一般競争入札(省エネ設備導入促進事業)	クリーナース、おおぞら
"	建設委員会	クリーナース、おおぞら、法人本部
7日	焼肉会(土曜日開所)	エイト
16日	2026 新卒採用法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
20日	エイト自治会懇談会	エイト
21日	合同打ち上げ(焼肉会)	クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
"	焼肉会(土曜日開所)	セルブ
25日	春のクリーンデー(施設構内環境整備運動)	クリーナース、おおぞら
"	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
26日	(株)H B N主催：福祉系合同会社説明会	法人本部
"	ドリンク納涼会	おおぞら
"	就労移行支援プログラム(S S T)	セルブ
28日	カフェイベント(土曜日開所)	美しの森
7月 6日	北海道社会福祉協議会主催：福祉職場説明会	法人本部
"	広栄町内会主催：親睦焼き肉バーベキュー会	エルフィン
7～8日	かき氷納涼会	クリーナース
12日	羊ヶ丘展望台見学(土曜日開所)	セルブ
18日	エイト自治会懇談会	エイト
19日	エイトカジノ(土曜日開所)	エイト
23日	一般競争入札(法人P C(40 台)の更新)	法人本部
"	2026 新卒採用法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
"	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
23～24日	かき氷納涼会	クリーナース
24日	アイス納涼会	おおぞら
"	就労移行支援プログラム(S S T)	セルブ

開催日		行事・事業内容	
7月	25日	一般競争入札(リハビリー・エイト工場棟改修工事)	エイト
	26日	道の駅へ行こう(土曜日開所)	美しの森
	"	美しの湯(土曜日開所)	美しの森
8月	5日	建設委員会	エイト、法人本部
	5日	澁谷監事による施設視察	北広島施設、セルプ、やまはな
	7日	北海道赤十字血液センター移動献血車	北広島施設
	8日	かき氷納涼会	おおぞら
	15日	エイト自治会懇談会	エイト
	16日	室内レクリエーション(土曜日開所)	セルプ
	21日	就労移行支援プログラム(S S T)	セルプ
	23日	夏祭り(土曜日開所)	美しの森
	27日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	31日	第49回北海道リハビリー夏まつり	
	"	西の里中央町内会主催：町内親睦会	エルフィン
	9月 2日	(株)マイナビ主催：就職E X P O	エイト、法人本部
	13日	美しの湯(土曜日開所)	美しの森
9月	17日	特定給食施設等の指導・助言の実施(石狩振興局保健環境部千歳地域保健室)	エイト
	19日	第2四半期監事監査(澁谷監事)	エイト、エルフィン、法人本部
	"	エイト自治会懇談会	エイト
	"	総合防災訓練(日中・火災)	セルプ
	20日	サツラクミルクの郷見学(土曜日開所)	セルプ
	21日	エルフィン自治会ボウリング大会	エルフィン
	"	新冠ほくと園主催：ふれあいフェスタ 2025	法人本部
	22日	西の里交通安全協議会主催：秋の交通安全街頭啓発	北広島施設
	24日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	25日	きのこ王国へ行こう	美しの森
	"	就労移行支援プログラム(S S T)	セルプ
	29日	総合防災訓練(日中・火災)	やまはな
	30日	西の里交通安全協議会主催：秋の交通安全街頭啓発	北広島施設
10月	1日	辞令交付式	
	2日	西の里小学校車いす体験学習	エルフィン
	3日	利用者・職員 定期健康診断	セルプ、やまはな
	7日	2026 新卒者採用試験	法人本部

開催日		行事・事業内容	
10月	9日	秋のクリーンデー（施設構内環境整備運動）	エイト、法人本部
	11日	利用者・職員 定期健康診断	美しの森
	14日	利用者・職員 定期健康診断	エイト、法人本部
	15日	札幌市身体障害者福祉施設連絡協議会主催：災害対応訓練(振り返り研修)	美しの森、セルプ
	〃	秋のクリーンデー（施設構内環境整備運動）	セルプ
	15～16日	利用者・職員 定期健康診断 クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン	
	16日	第1回クリーナースポッチャ大会	クリーナース
	17日	総合防災訓練（日中・火災） クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン	
	〃	エイト自治会懇談会	エイト
	18日	ハロウィンイベント（入所利用者、土曜日開所） 児童養護施設北光社ふくじゅ園 児童招待	エイト
	〃	オリンピックミュージアム見学（土曜日開所）	セルプ
	19日	広栄町内会主催：秋の一斉清掃	エルフィン
	21日	総合防災訓練（日中・火災）	エイト、法人本部
	23日	就労移行支援プログラム（SST）	セルプ
	24日	北海道による災害時情報共有システム訓練	セルプ
	25日	ハロウィンイベント（通所利用者、土曜日開所）	エイト
	〃	焼き芋を食べよう（土曜日開所）	美しの森
	26日	中央町内会主催：秋の一斉清掃	エルフィン
	28日	インフルエンザ予防接種	美しの森
	29日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	〃	総合防災訓練（夜間・火災、えぞりす、かわせみ、クローバー）	エルフィン
	〃	総合防災訓練（夜間・火災、かえで、陽だまり、すずらん）	エルフィン
11月	1日	フラダンス（土曜日開所）	美しの森
	3日	美しの湯	美しの森
	4日	辞令交付式	
	〃	エイト・法人本部合同BCP訓練	エイト、法人本部
	5日	インフルエンザ予防接種	セルプ、やまはな
	6日	2026新卒採用試験	法人本部
	8日	北海道身体障害者福祉施設協議会主催：FukulinkExpo2025 おおぞら、美しの森、法人本部	
	9日	第25回札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック2025）	美しの森
	10日	澁谷税理士による税務確認	法人本部
	11日	インフルエンザ予防接種	おおぞら、クリーニング事業部
	〃	札幌子ども専門学校主催：学内説明会	法人本部

開催日		行事・事業内容
11月	12日	2026 新卒採用法人説明・見学会 おおぞら、エイト、法人本部
	14日	インフルエンザ予防接種 クリーナース、クリーニング事業部
	15日	就労移行支援プログラム（S S T） 美しの森
	〃	札幌市下水道科学館見学（土曜日開所） 美しの森
	〃	室内レクリエーション(土曜日開所) セルブ
	17～19日	監査法人ライトハウスによる会計監査 法人本部
	18日	インフルエンザ予防接種 おおぞら、クリーニング事業部
	20日	就労移行支援プログラム（S S T） セルブ
	21日	インフルエンザ予防接種 エイト、法人本部
	〃	エイト自治会懇談会 エイト
	22日	美しの湯（土曜日開所） 美しの森
	24日	美しの湯 美しの森
	25日	第3四半期監事監査（佐藤監事、澁谷監事） クリーナース、おおぞら、法人本部
	25日	監事協議会 法人本部
	〃	インフルエンザ予防接種 クリーナース
	25～26日	北海道社会就労センター協議会主催：ふくしの市 2025 セルブ、法人本部
	26日	エルフィン自治会懇談会 エルフィン
	28日	インフルエンザ予防接種 エイト、法人本部
	29日	西の里次世代育成交流会 エイト、エルフィン、法人本部
	〃	エスコンフィールド見学（通所利用者、土曜日開所） エイト
	〃	就労移行支援プログラム（S S T） 美しの森
12月	4日	向陽学院「福祉就労の仕組み特別授業」講師派遣 法人本部
	13日	北海道人材センター主催：福祉のおしごと就職フェア 法人本部
	〃	エスコンフィールド見学（入所利用者、土曜日開所） エイト
	〃	就労移行支援プログラム（S S T） 美しの森
	16日	北広島西高等学校主催：全校学習成果報告会 クリーナース、エイト、法人本部
	18日	移動献血車 北広島施設
	〃	就労移行支援プログラム（S S T） セルブ
	19日	エイト自治会懇談会 エイト
	20日	クリスマス会（土曜日開所） エイト、美しの森、セルブ
	24日	平取養護学校静内ベテカリの園分校「特別支援教育地域研修会」講師派遣 クリーナース、美しの森、セルブ、エルフィン、法人本部
	〃	エルフィン自治会懇談会 エルフィン
	25日	エルフィン自治会 クリスマス会 エルフィン

開催日		行事・事業内容	
12月	26日	セルプ納会	セルプ
	27日	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	美しの森
	30日	美しの湯	美しの森
	〃	やまはな納会	やまはな
	31日	入浴イベント	エイト
1月	2日	美しの湯	美しの森
	5日	はたちの祝い	おおぞら、エイト、美しの森、セルプ
	10日	美しの湯（土曜日開所）	美しの森
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	美しの森
	15日	クリーナース新年会	クリーナース
	16日	エイト自治会懇談会	エイト
	17日	おおぞら新年会	おおぞら
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	美しの森
	〃	餅つき会（土曜日開所）	セルプ
	22日	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	セルプ
	24日	新年会（土曜日開所）	エイト
	〃	ボッチャ大会（土曜日開所）	美しの森
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	美しの森
	28日	エルフィン自治会懇談会	エルフィン
	29日	石狩振興局によるエイト改修工事の現地調査（中間検査）	エイト、法人本部
	31日	新年会（土曜日開所）	美しの森
2月	2～4日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
	3日	エルフィン自治会 節分イベント	エルフィン
	6日	針供養	セルプ
	7日	トントン相撲（土曜日開所）	エイト
	〃	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	美しの森
	14日	ともに運動会（土曜日開所）	美しの森
	〃	室内レクリエーション（土曜日開所）	セルプ
	19日	就労移行支援プログラム（ＳＳＴ）	セルプ
	〃	やまはな新年会	やまはな
2月	20日	エイト自治会懇談会	エイト
	21日	バレンタインイベント（土曜日開所）	エイト

開催日		行事・事業内容
2月	21日	エルフィン自治会新年会 エルフィン
	"	美しの湯（土曜日開所） 美しの森
	"	就労移行支援プログラム（S S T） 美しの森
	24日	2026 新卒採用者内定式 法人本部
	25日	エルフィン自治会懇談会 エルフィン
3月	1日	(株)H B N主催：合同会社説明会 法人本部
	6日	利用者・職員 定期健康診断 セルプ、やまはな
	7日	北ひろしま福祉会主催：社会福祉法人等ボッチャ交流会(第2回きたひろCUP) エイト
	9~10日	監査法人ライトハウスによる会計監査 法人本部
	10日	利用者・職員 定期健康診断 エイト
	11日	利用者・職員 定期健康診断 クリーナース、エルフィン
	12日	利用者・職員 定期健康診断 おおぞら
	"	総合防災訓練（日中・火災） エイト
	"	避難訓練（夜間・火災） エイト
	14日	利用者・職員 定期健康診断 美しの森
	"	室内レクリエーション（土曜日開所） セルプ
	15日	マイナビ主催：福祉・介護業界就職セミナー 法人本部
	16日	総合防災訓練（日中・火災） セルプ
	19日	石狩振興局によるエイト改修工事の現地調査（完成検査） エイト、法人本部
	"	就労移行支援プログラム（S S T） セルプ
	"	総合防災訓練（日中・火災） やまはな
	20日	エイト自治会懇談会 エイト
	21日	美しの湯（土曜日開所） 美しの森
	24日	第4四半期監事監査（澁谷監事） 美しの森、セルプ、法人本部
	25日	総合防災訓練（日中・火災） クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
	"	エルフィン自治会懇談会 エルフィン
	"	総合防災訓練（夜間・火災、えぞりす、かわせみ、クローバー） エルフィン
	26日	地域交流スペースくるね内覧会 エイト
	"	総合防災訓練（夜間・火災、かえで、陽だまり、すずらん） エルフィン
	27日	2027 新卒法人説明・見学会 おおぞら、エイト、法人本部
	"	地域交流スペースくるね内覧会 エイト
	28日	地域交流スペースくるねプレオープンイベント（土曜日開所） エイト
3月	28日	紙飛行機をつくって飛ばそう（土曜日開所） 美しの森

開催日	行事・事業内容
3月 28日	就労移行支援プログラム（SST） 美しの森

8. 施設見学の受け入れ状況

月別来所者数

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クリーナース	8	7	33		3	146	2	15	6	9		11	240
おおぞら	5	4	104	3	19	34	2		5	6	6		188
エイト	3	4			1	138	2						148
美しの森		3	9			12	4	4					32
セルプさっぽろ	2	6	8	5	7	9	6	3	2	4	5	8	65
エルフィンホーム	1	2	92		20	34		13	3		2		167
合 計	19	26	246	8	50	373	16	35	16	19	13	19	840

関係機関別来所件数

(件)

	学校	福祉施設	相談事業所	公的機関	一般(企業・名)	その他	合計
クリーナース	19	3	9	2	4		37
おおぞら	18	1	4	3	3		29
エイト	8	1			1		10
美しの森	5	1	2	1	5		14
セルプさっぽろ	23	1	1	1	7		33
エルフィンホーム	13		1				14
合 計	86	7	17	7	20		137

9. 職場実習の受け入れ状況

月別職場実習等受け入れ延べ人数

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クリーナース		1	1	1	6	3	1		1	2		2	18
おおぞら	2		2		2	2	1	1		1	1		12
エイト	1	1	2										4
美しの森		1	1		1		1		1				5
セルプさっぽろ	1		5	6	2	6	3	3	2			3	31
エルフィン				1	1			1			4		7
合 計	4	3	11	8	12	11	6	5	4	3	5	5	77

実習者の内訳

(名)

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	大学・一般	その他	合計
クリーナース			5	1	4	4	4		18
おおぞら		1			2	2	7		12
エイト						3	1		4
美しの森						2	3		5
セルプさっぽろ		4	16	5	2	1	3		31
エルフィン						1	6		7
合 計		5	21	6	8	13	24		77

10. 施設設備整備実施報告

(1) 法人本部

金額単位：千円(税込)

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
2	17,540	2	8,847	50.4			2	8,847

(2) クリーニング事業部

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(3) リハビリ・クリーナース

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	117,645	1	112,376	95.5			1	112,376

(4) リハビリ・おおぞら

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	111,716	1	115,126	103.1			1	115,126

(5) 省エネ設備等導入促進事業

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	11,880	1	11,286	95.0			1	11,286

(6) リハビリ・エイト

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
2	106,700	2	102,194	95.8			2	102,194

(7) 美しの森

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(8) セルプさっぽろ（つきさむ）/ウェルプラザやまはな

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(9) エルフィンホーム/地域福祉推進室

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(10) ポプルス

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(11) 総 計

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
7	365,481	7	349,829	95.7			7	349,829

※ 理事会審議が必要な予算基準額（税込）（建設工事：1000万円、建設工事以外：300万円、物品などの購入又は賃借：500万円、業務委託：300万円）を超える実施事業

※ 実施率＝年度計画に対する実施率

○事業所別実施状況

(1) 法人本部

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
法人P C(40台)の更新	9,350	－	4,667	－	2025年11月完了
複合機の更新	8,190	－	4,180	－	2025年8月完了
合 計	17,540	－	8,847	－	

当初更新予定していた複合機の台数減(11台→5台)に伴い、予算基準額が500万円を超えないことから3者見積り合わせによる随意契約で実施。

(3) リハビリリー・クリーナース

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
連続洗濯機・油圧脱水機の更新 (省エネ設備等導入促進事業)	117,645	－	112,376	－	2026年1月完了
合 計	117,645	－	112,376	－	

省エネルギー投資促進支援事業補助金(設備単位型)：27,000千円 自己資金：85,376千円

(4) リハビリリー・おおぞら

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
連続洗濯機・油圧脱水機の更新 (省エネ設備等導入促進事業)	111,716	－	115,126	－	2026年1月完了
合 計	111,716	－	115,126	－	

省エネルギー投資促進支援事業補助金(設備単位型)：27,000千円 自己資金：88,126千円

(5) 省エネ設備等導入促進事業

< 新規 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
コンサルタント業務契約 省エネ事業に伴う補助金申請業務 (連続洗濯機・油圧脱水機の更新)	11,880	－	11,286	－	2026年1月 完了
合 計	11,880	－	11,286	－	

(3) (4)の省エネルギー投資促進支援事業補助金の総額 54,000 千円の 19%

(6) リハビリ・エイト

< 新規 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
地域共生事業に伴う施設整備事業	97,900	－	96,800	－	2026年3月 完了
合 計	97,900	－	96,800	－	

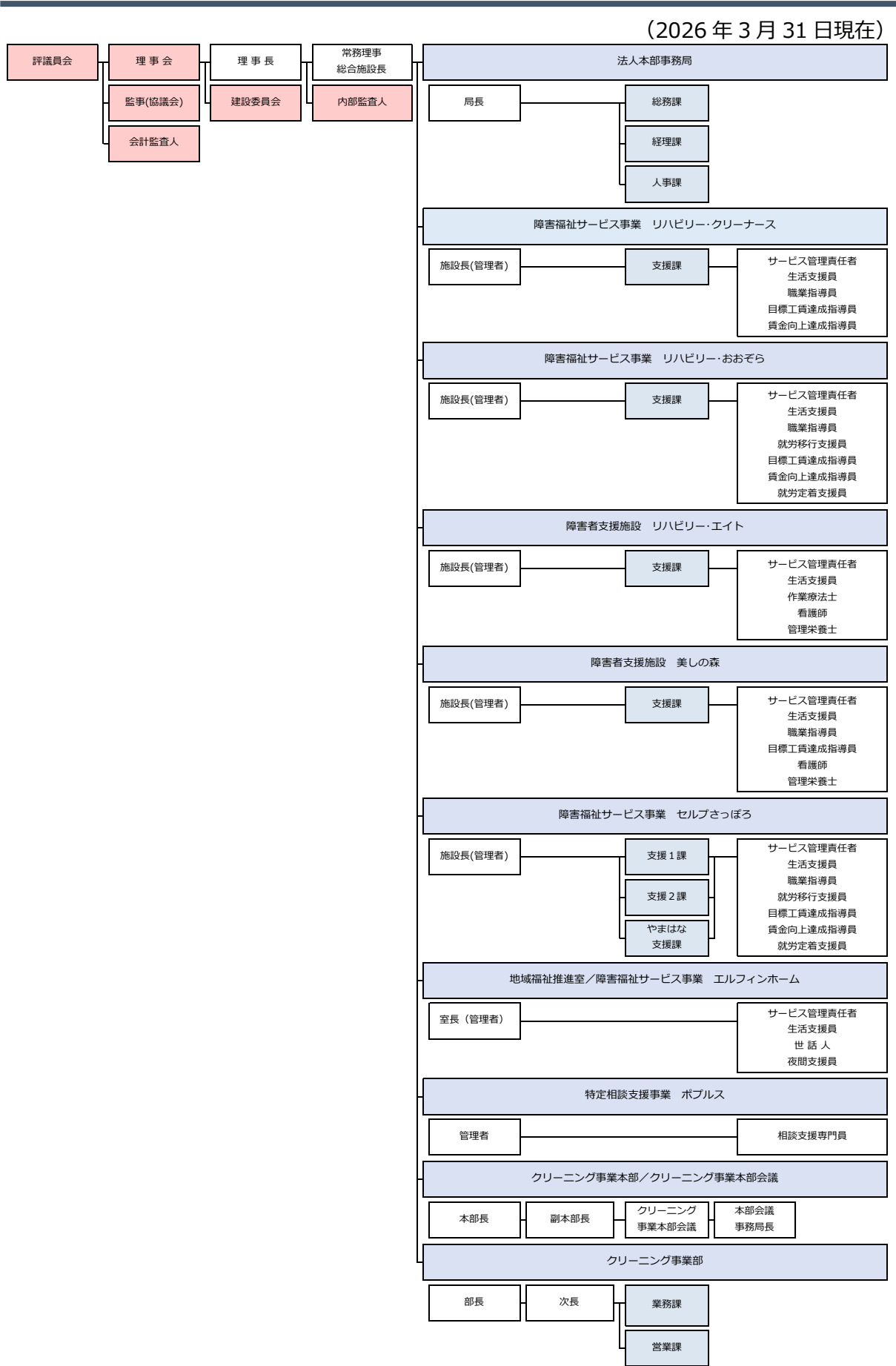
令和 6 年度社会福祉施設等整備補助金(補正)：72,600 千円 自己資金：24,200 千円

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
地域共生事業に伴う備品整備事業	8,800	－	5,394	－	2026年3月 完了
合 計	8,800	－	5,394	－	

11. 組織図



12. 利用者・職員の在籍状況

利用者数及び従業員数

(2026年3月31日現在)

	利 用 者										従 業 員 (内福祉事業職員)					合 計
	生活 介護	就 労 移行	就 労 継続 A型	就 労 継続 B型	施 設 入 所	共 同 生 活 援 助	就 労 定 着	生 活 困 窮 者 就 労 訓 練	小 計	(前 年 末 比)	正 職 員	嘱 託 職 員	契 約 職 員	小 計	(前 年 末 比)	
(1) リハビリ・ クリーナース			16	62				0	78	1	23 (13)	1 (0)	13 (2)	37 (15)	1 (-1)	115
(2) リハビリ・ おおぞら		2	29	61			3		95	5	34 (14)		12 (5)	46 (19)	-11 (-1)	141
(3) リハビリ・ エイト	56				39				95	-3	23 (23)		1 (1)	24 (24)	-2 (-2)	119
(4) 美しの森	68			15	30				113	2	24 (24)		1 (1)	25 (25)	0 (0)	138
(5) セルプ さっぽろ		0	7 (7)	96 (10)			2	1	106 (17)	-2 (0)	18 (18)	1 (1)	1 (1)	20 (20)	0 (0)	128
(6) エルフィン ホーム						46			46	2	5 (5)		1 (1)	6 (6)	0 (0)	52
(7) ポプルス											3 (3)			3 (3)	1 (1)	3
(8) 法人本部											16 (6)			16 (6)	10 (0)	16
総 計	124	2	52	234	69	46	5	1	542	5	146 (106)	2 (1)	29 (11)	177 (118)	-1 (-3)	719
(前年末比)	-1	-1	-1	4	0	2	1	1	-19	5	0 (-1)	0 (0)	-1 (-2)	2 (8)	1 (5)	11
特定相談支援事業所 ポプルス	利用登録者数								149	-17						149

- 備 考 1 利用者数は、サービス利用契約に基づく、サービス毎の提供者数で計算している。
- 2 セルプ利用者の()は、内ウエルプラザやまはな利用者の人数である。
- 3 施設入所、共同生活援助、夜間等の支援のため、日中活動及び従業員数の人数に重複している。
- 4 パート職員 120 名は除いている。
- (クリーナースのクリーニング取次店従業員及びおおぞらのハウスキーパー等)